

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

＜第2週＞感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い／その他最新動向
＜12月＞性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-13

＜インフルエンザ＞定点当たり報告数は第2週現在、全国レベルで0.70である
＜コレラ＞2004年のコレラの報告数は82例であった



病原体情報
P.14-15

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン／インフルエンザウイルス 2004/05シーズン



速報
P.16

神戸市北区における流行性耳下腺炎の流行



海外感染症情報
P.17-18

フィリピンで髄膜炎菌性疾患の流行－更新／チャドで髄膜炎菌性疾患の発生－更新／ベトナムでの鳥インフルエンザの状況－更新



感染症の話
P.19-21

＜クリプトスポリジウム症＞健常者においても水様下痢症の原因となり、水道水や食品を介した集団発生が重要となる



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(2週)
P.22-28



グラフ総覧(12月)
P.29-33



12月のデータ
P.34-37



2週のデータ
P.38-49



発生動向総覧

※「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第2週コメント> 1月20日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症: 報告なし

2類感染症:細菌性赤痢 15例(推定感染地域:国内7例、インド3例、インドネシア2例、タイ1例、アジア1例、不明1例)

腸チフス 2例(推定感染地域:バングラデシュ/マレーシア1例、不明1例)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 8例(うち有症者5例)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(2例)、O157 VT2(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O26 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、その他(1例)

年齢:10歳未満(1例)、20代(4例)、40代(1例)、50代(2例)

4類感染症:オウム病 1例(推定感染源:インコ)

レジオネラ症 2例(ともに70代、うち1例死亡)

A型肝炎 3例(推定感染地域:国内1例、不明2例)

5類感染症:アメーバ赤痢 7例

推定感染地域:国内5例、スリランカ1例、ブルキナファソ1例

推定感染経路:経口2例、不明5例

ウイルス性肝炎 1例(C型__推定感染経路:不明)

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(70代)

後天性免疫不全症候群 6例(無症候4例、AIDS 1例、その他1例)

推定感染経路:すべて性的接触(異性間1例、同性間5例)

推定感染地域:すべて国内

梅毒 3例(早期顕症I期1例、晩期顕症1例、無症候1例)

破傷風 1例(40代)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例

(遺伝子型:ともに不明__菌検出検体:ともに便)

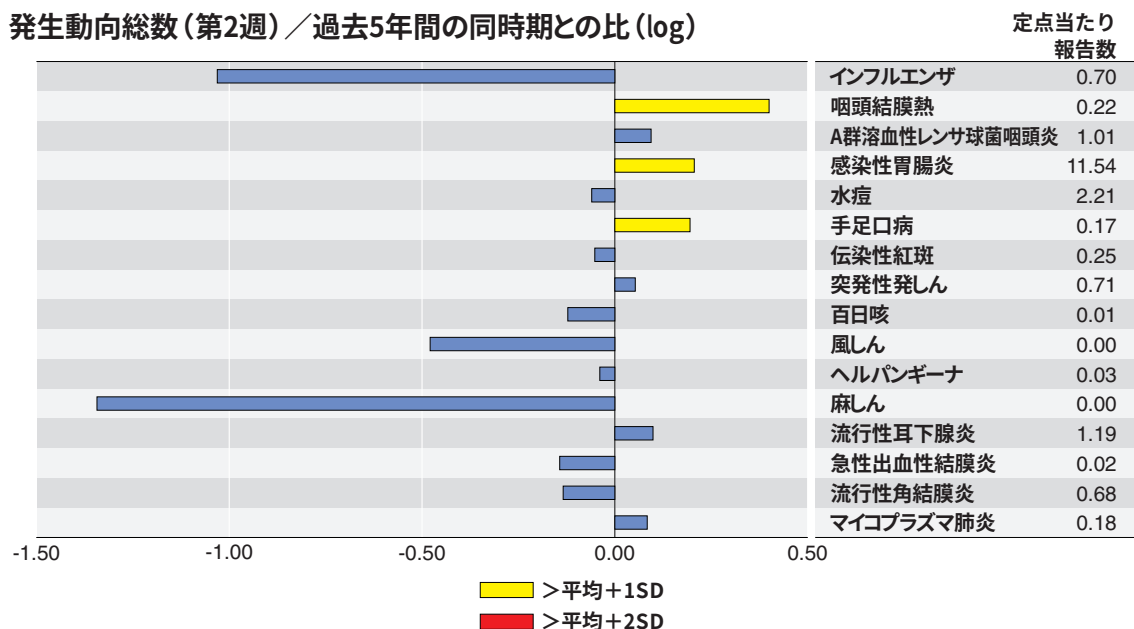
急性脳炎 2例〔インフルエンザウイルスB型1例(3歳)、病原体不明1例(30代)〕

(補)他に、アメーバ赤痢1例、ウイルス性肝炎1例の報告があったが、削除予定。また、昨年度の報告遅れとして、急性脳炎4例〔すべて病原体不明(6歳1例、20代2例、50代1例)〕の報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第2週)／過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

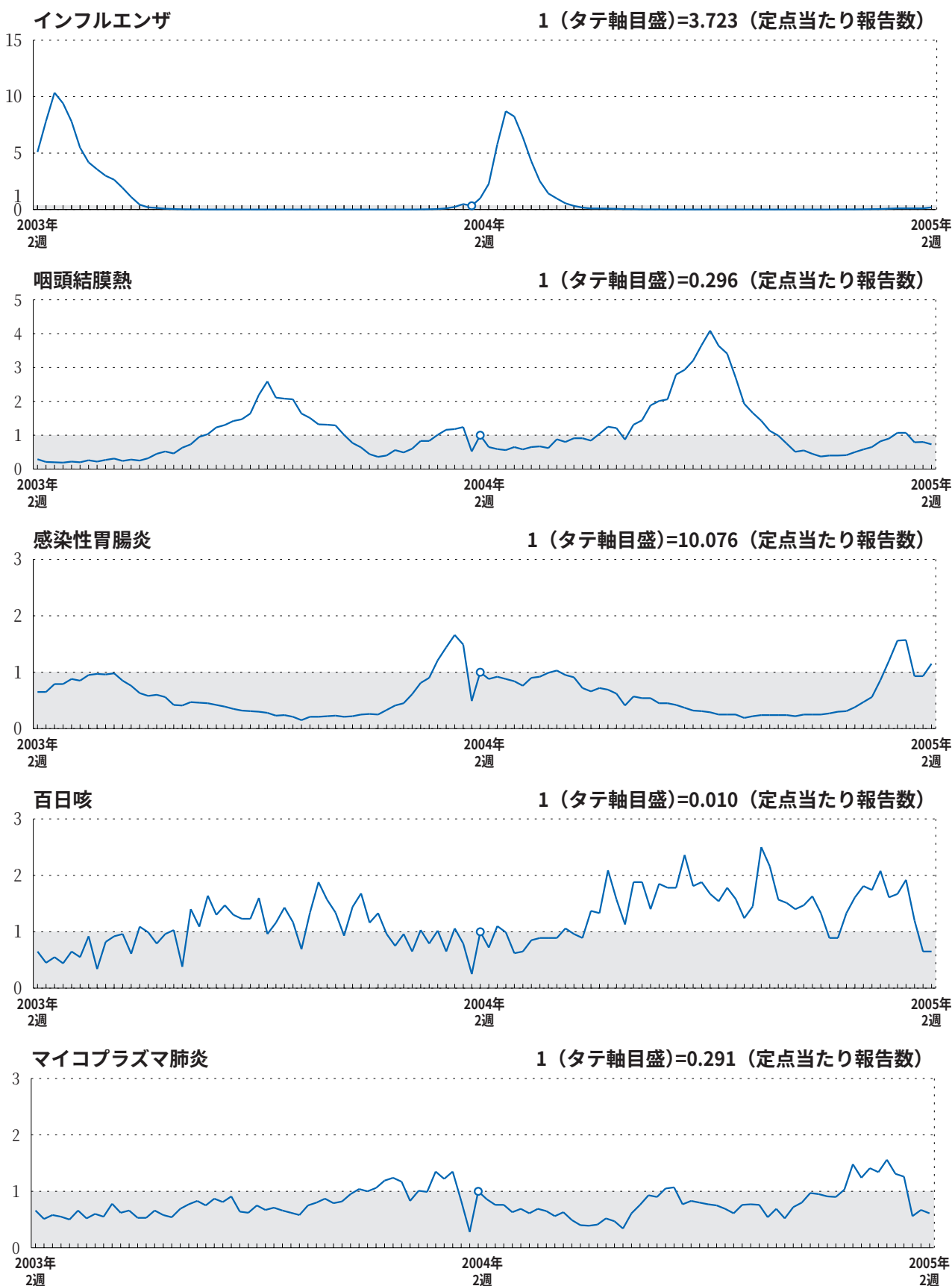
インフルエンザ定点報告疾患：定点当たり報告数はいまだ低いレベルにはあるが、第1週の約2倍に増加した。都道府県別では静岡県(1.64)、岐阜県(1.61)、群馬県(1.59)が多い。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微減した。しかし、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多く、都道府県別では福井県(1.1)、新潟県(0.77)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(2.1)、高知県(2.0)、山形県(2.0)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は増加した。第52週のピークの値よりは減少しているものの、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県(29.1)、福井県(25.5)、山口県(21.0)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(5.0)、山形県(4.5)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県(0.95)、石川県(0.76)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数(0.01)は横ばいであった。都道府県別では山梨県(0.04)、福岡県(0.04)が多い。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数はやや減少した。都道府県別では福井県(7.0)、佐賀県(3.1)、福岡県(3.1)が多い。**RSウイルス感染症**は、ゼロ報告を含めて42都道府県から341件と減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の84%を占めている。都道府県別では山口県(37例)、大阪(30例)からの報告が多い。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県(1.0)、福島県(0.86)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第2週)

2004年第2週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



〈12月コメント〉

◆性感染症について(1月13日集計分) 性感染症定点数: 919

2004年12月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.14(男1.35、女1.80)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.88(男0.35、女0.52)、尖圭コンジローマが0.51(男0.28、女0.23)、淋菌感染症が1.43(男1.18、女0.24)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、横ばいまたは減少傾向を示すものが多い。(29～32ページグラフ総覧参照)。過去5年間の同時期と比較すると、性器クラミジア感染症は男女ともに平均－1標準偏差(SD)を下回り、淋菌感染症は、男性で平均－2SD、女性で平均－1SDを下回った。一方、女性の性器ヘルペスウイルス感染症は平均＋1SDを超えた。(図2)。

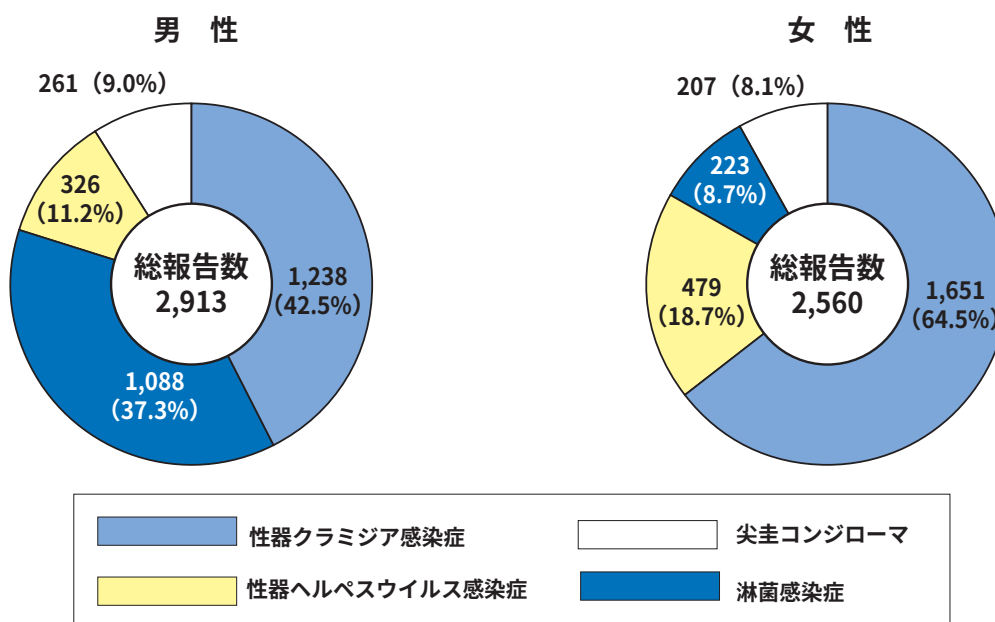
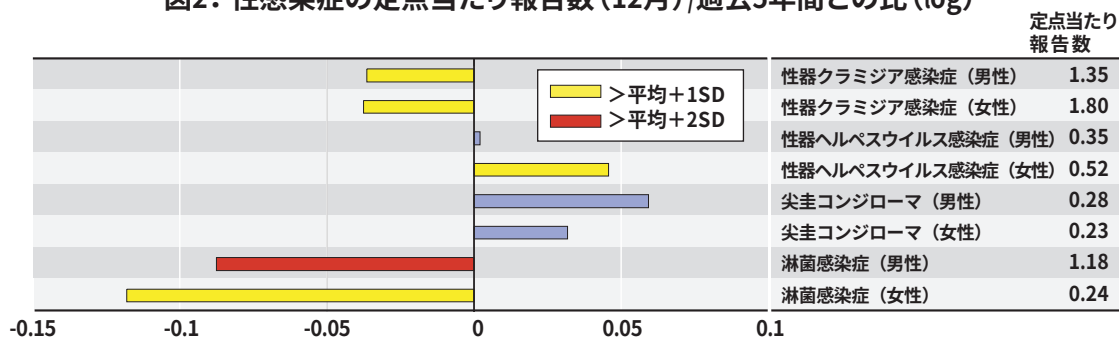


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(12月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(12月)/過去5年間との比(log)



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3)、いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少ない。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。男性では減少傾向が続いており、女性では横ばいである。

注:本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(12月)

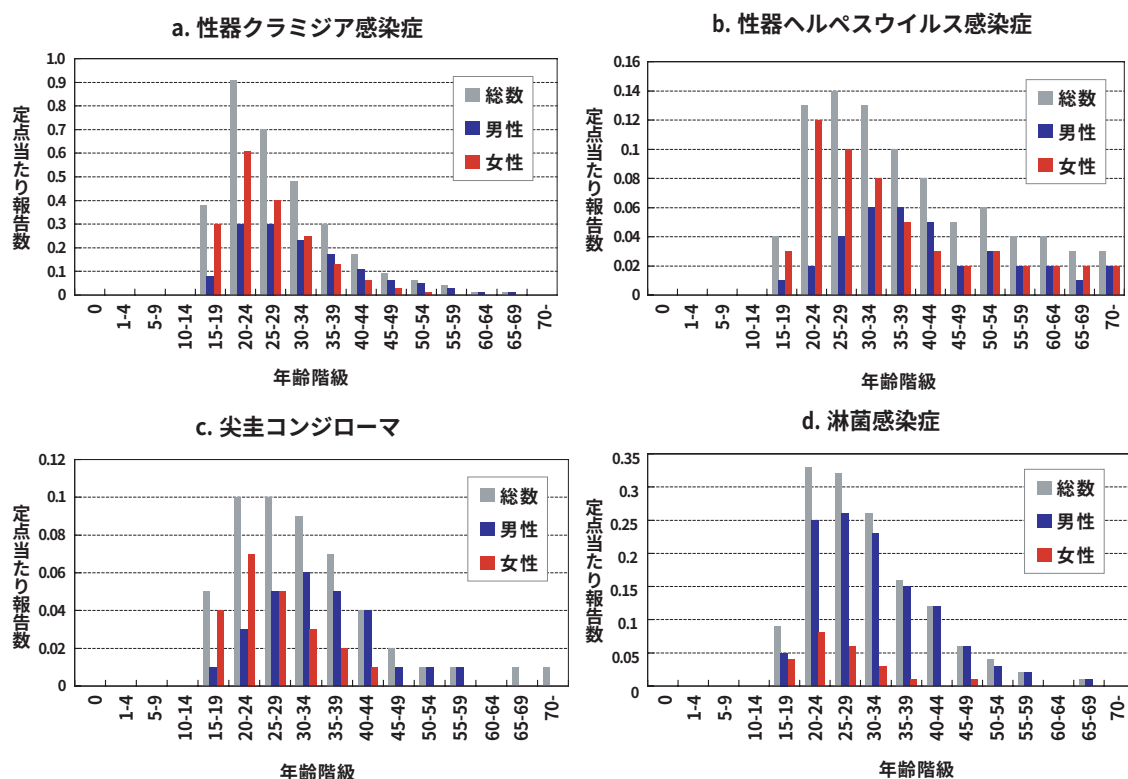
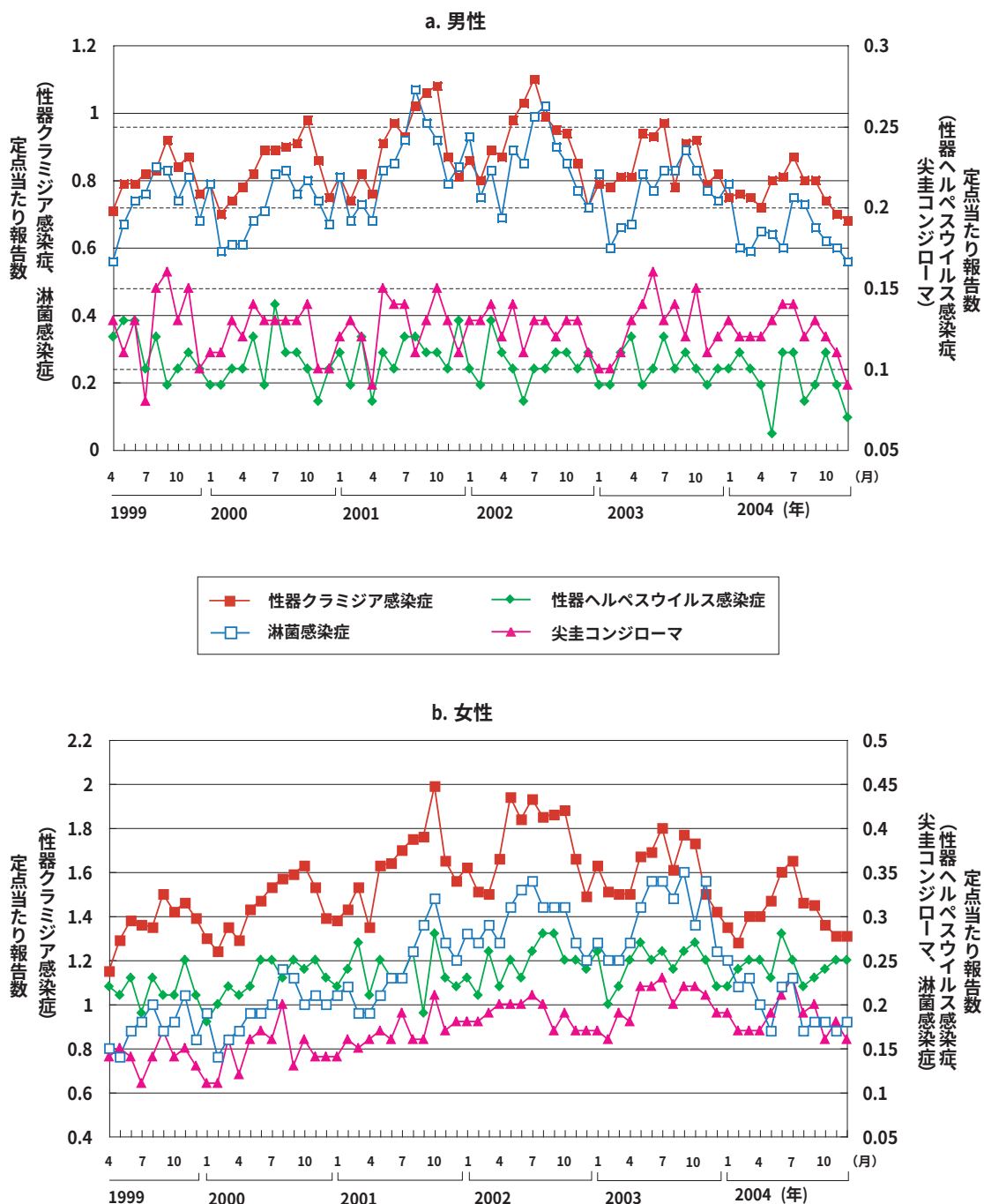


図4. 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数（15～29歳）



◆薬剤耐性菌感染症について(1月13日集計分)

12月の定点(基幹定点)総数: 471

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.86(前月: 3.80、前年同月: 3.71)

例年、年間を通してほぼ一定である。2004年では12月は微増し、過去5年間の同月との比較では最も多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.72(前月: 1.46、前年同月: 1.63)

例年、春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く推移していた。2004年は1月から6月までほぼ一定で推移し、7月からは過去と同様に9月まで減少し、10月以降増加を示している。過去5年間の同月との比較では最も多かった。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.09(前月: 0.11、前年同月: 0.16)

例年、年の前半が後半に比してわずかに少ないが、年間を通じてほぼ一定である。2004年では6～8月まで増加が続いていたが、9月は減少、10月は微増し、11月以降減少を示している。過去5年間の同月との比較では、2000年に次いで少なかった。

[年齢階級別]

MRSA感染症…高齢者に多く、65歳以上が全体の71%(70歳以上が62%)を占めている(図1)。

PRSP感染症…小児に多く、10歳未満が全体の79%(5歳未満が73%)を占めている。また高齢者にもやや多く、65歳以上が全体の14%(70歳以上が11%)を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症…高齢者に多く、65歳以上が全体の86%(70歳以上が74%)を占めている(図3)。

[性別](女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症…1.8/1

PRSP感染症…1.3/1

薬剤耐性緑膿菌感染症…1.5/1

[都道府県別]

MRSA感染症…定点当たり報告数は栃木県(9.7)、高知県(7.8)、山口県(7.7)が多い。2004年の累積定点当たり報告数では、山口県(107.4)、富山県(96.8)、栃木県(93.1)が多い。

PRSP感染症…定点当たり報告数は千葉県(21.4)、富山県(10.6)が多い。2004年の累積定点当たり報告数では、千葉県(124.9)、富山県(86.0)、高知県(40.6)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症…定点当たり報告数は香川県(0.5)、群馬県(0.4)、大分県(0.4)が多い。2004年の累積定点当たり報告数では、岩手県(5.3)、広島県(4.4)、香川県(4.0)が多い。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

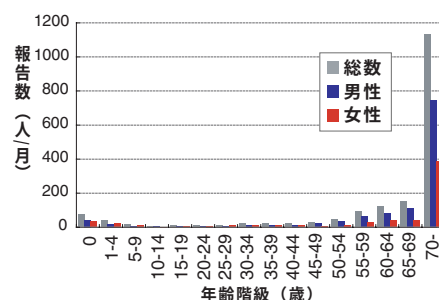


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

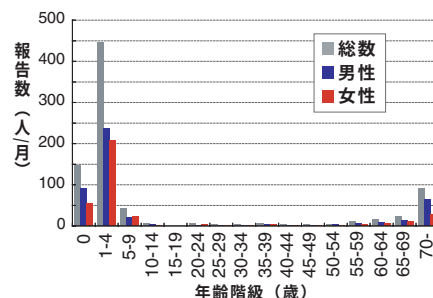
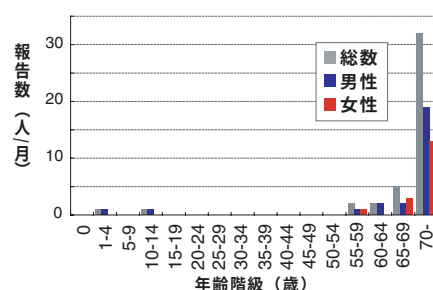


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



◆結核サーベイランス月報(1月24日集計分)

12月の新登録患者数は2,290人(男性1,409人、女性881人)で、このうち活動性肺結核患者は1,858人(うち喀痰塗抹陽性者は816人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(258人)、大阪府(大阪市を除く)(151人)、大阪市(109人)、兵庫県(神戸市を除く)(96人)、埼玉県(さいたま市を除く)(83人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は365人であった。

*マル初者…結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

また、9月15日に、2003年の結核発生動向調査年報が出されました。詳しくは、結核研究所ホームページ(<http://www.jata.or.jp>)でご覧下さい。



注目すべき感染症

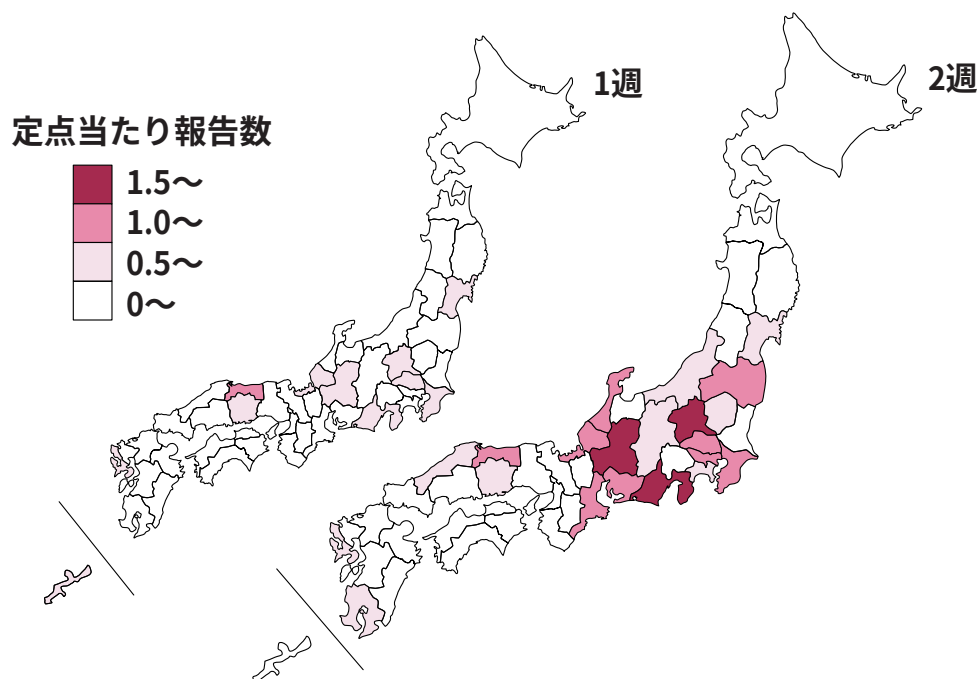
◆インフルエンザ

インフルエンザの定点当たり報告数は第2週現在、全国レベルで0.70であり、まだ本格的な流行は始まってはいないが、第2週は第1週の約2倍になった。都道府県別では定点当たり報告数が1.0を超えたのは、静岡県(1.64)、岐阜県(1.61)、群馬県(1.59)、千葉県(1.39)、三重県(1.38)、鳥取県(1.38)、埼玉県(1.31)、福島県(1.28)、愛知県(1.19)、石川県(1.17)、福井県(1.06)、東京都(1.03)の12都県に達し、第1週の1県よりも大幅に増加した(図)。今後、インフルエンザ流行の指標である、全国レベルにおける定点当たり報告数が1.0を超えるのは、ごく近いと考えられる。

インフルエンザは通常、突然の高熱と全身倦怠感、筋肉痛などの全身症状を伴って発症し、これらの症状と同時かあるいはやや遅れて、咽頭痛や咳などの呼吸器症状が現れる。微熱程度の軽症例もあるが、肺炎を合併して重症化する例があり、また、基礎疾患を有する高齢者における死亡や、小児層におけるインフルエンザ脳症の合併が知られている。

インフルエンザは主に、感染者からの呼吸器飛沫の吸引あるいは接触(飛沫感染、接触感染)により感染するが、感染性は強く、特に医療機関や施設での感染拡大予防は重要である。そのためには、事前のワクチン接種、患者の早期発見と個室管理、飛沫感染・接触感染予防策が必要である。

図. 都道府県別インフルエンザ発生状況(2005年第2週)



◆コレラー2004年(2005年1月20日時点)

コレラは、1～5日(通常1日以内)の潜伏期の後に、下痢や嘔吐で急激に発症する腸管感染症である。殆どの場合、腹痛や発熱はみられない。典型的症状は激しい水様性下痢(重症では“米のとぎ汁様”)と脱水であるが、近年の報告症例では軽症であることが多い。しかし、胃腸の弱い人(胃切除者など胃酸の働きが低下している人)や高齢者、乳幼児では重症化して死亡することもあり、油断できない疾患である。

WHOの報告基準では、コレラ毒素産生性のO1血清型コレラ菌およびO139血清型コレラ菌によるものと定義されており、日本でも同じ定義を用いている。現在は、1999年4月施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の報告が義務づけられている。また、検疫法に基づく感染症でもある。

過去の年間累積報告数は2000年58例、2001年50例、2002年51例、2003年25例であったが、2004年(診断日が2004年第1～53週のもので、2005年1月20日までに報告されたもの)には82例に増えた。それらのうち疑似症患者が6例あり、無症状病原体保有者は4例であった。性別では、疑似症を除く76例につき男性60例、女性16例で、年齢は10～75歳(中央値44歳)であった。推定感染地域は国内11例、国外65例であった。

国内を推定感染地域とする11例(男性8例、女性3例)について年齢群別にみると、40代2例、50代6例、60代1例、70代2例(年齢中央値48歳)であった(図1)。また、死亡例が1例報告されている。報告の限りでは、疫学的関連性の確認された症例はなく、すべて散発例であった。発症月別にみると、これまで国内での感染は7～9月に多発する傾向が認められているが(参照: IASRVol.23No.9<特集>コレラ)、2004年においても8月に6例みられている(図2)。11例のコレラ菌の血清型では7例がO1小川型、4例がO1稲葉型であった(図3)。

国外を推定感染地域とする65例(男性52例、女性13例)について年齢群別にみると、10代1例、20代17例、30代14例、40代12例、50代11例、60代7例、70代3例(年齢中央値44歳)であった(図1)。推定感染国別ではフィリピン33例が半数を占め、インド21例、タイ7例、中国3例、インド/中国1例で、すべてアジア地域であった。発症月別・推定感染国別にみると、発症月が不明の3例を除く73例については、6月に20例(1999年4月～2003年の各年の6月の発症者は1～9例)と非常に多く、このうち16例の推定感染国はフィリピンであった(参照: 週報第6巻27号・31号)(図2)。コレラ菌の血清型を推定感染国別にみると、フィリピンでは型不明の1例を除きすべてO1小川型であり、タイではO1稲葉型が多い傾向がみられた。中国では3例のうち、2例がO139であった(図3)。

2004年の報告数は、感染症法施行以降最多となっており、その多くは国外での感染であった。コレラ流行地域へ渡航する場合には、生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

なお、わが国には従来からの不活化注射ワクチンがあるが、効果が低いことや副反応が多いことなどから、余り勧められていない。海外ではより効果が高く、副反応の少ない経口ワクチン(不活化および生ワクチン)2種類(病原微生物検出情報23(9):9(227):2002)が発売されており、コレラの高度流行地域へ出かける援助関係者などに、必要に応じて接種されることがある。

図1. 年齢別推定感染国別のコレラ患者発生状況(2004年1～12月報告分)

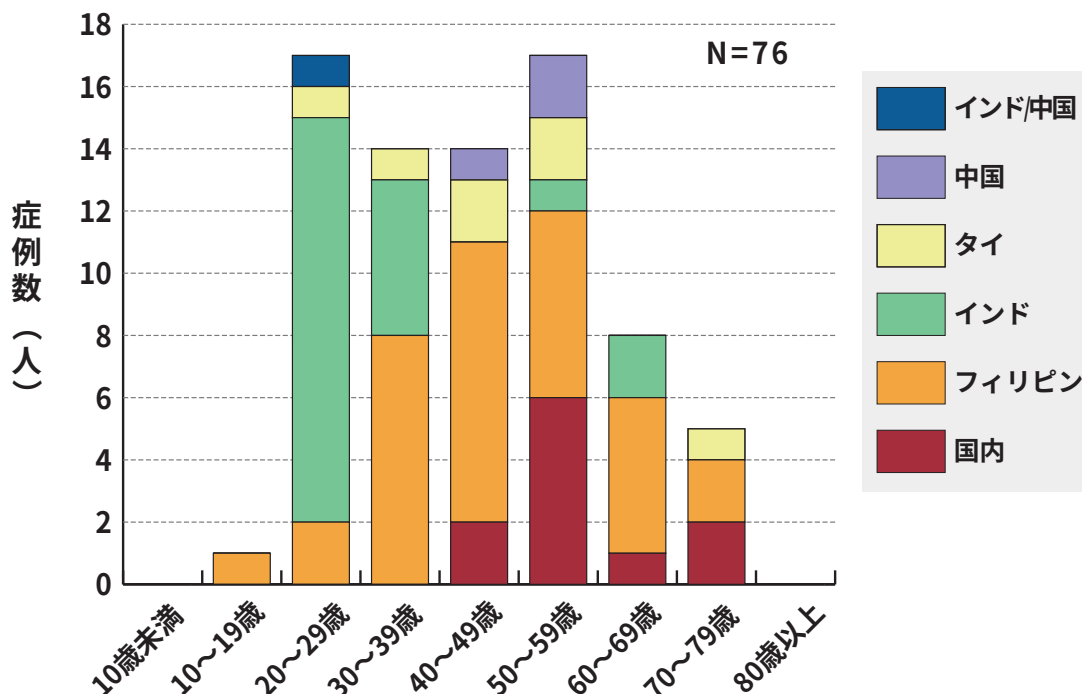


図2. 発症月別推定感染国別のコレラ患者発生状況(2004年1～12月報告分)

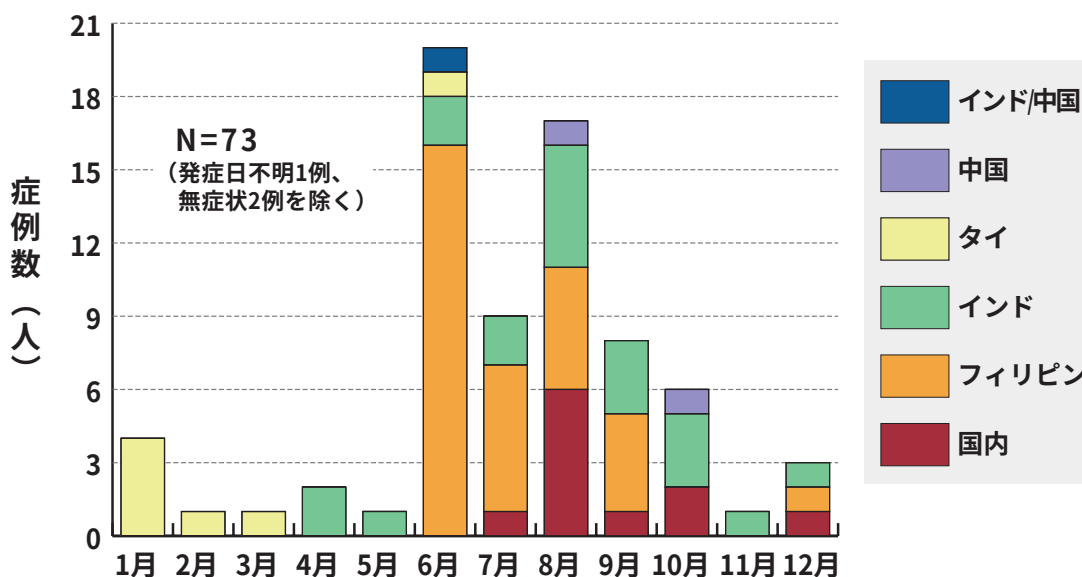
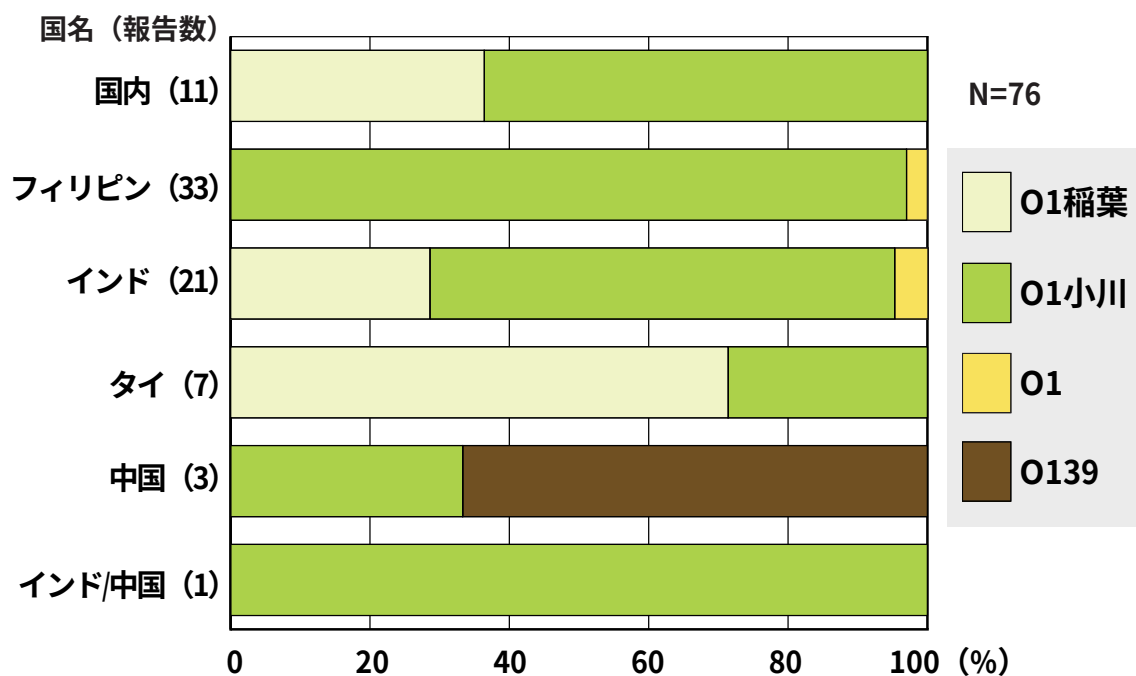


図3. コレラ患者の推定感染国別血清型分布(2004年1～12月)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年1月21日現在報告分)

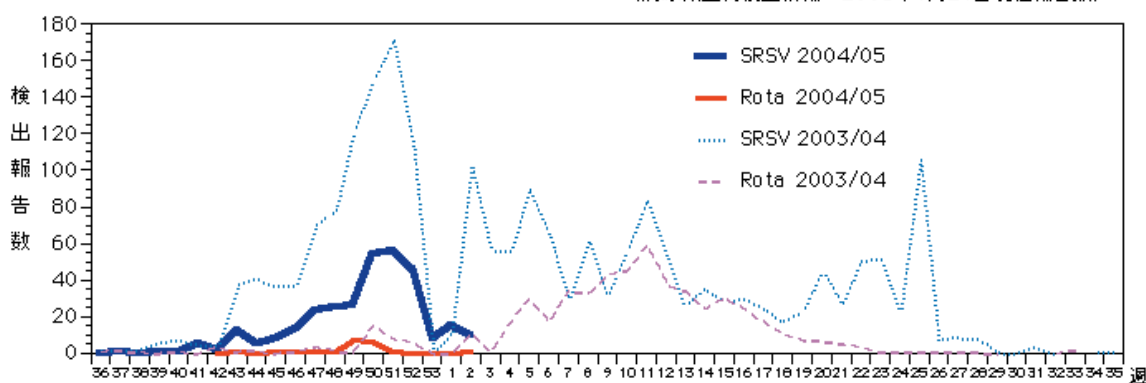
◆冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)は、昨シーズン(2003/04シーズン)と同じく第43週から検出報告が増加しており、これまでに計313件が報告されている。2004年第50週～2005年第2週までの週別報告数は54、56、46、8、15、10である。報告のほとんどはノロウイルスgenogroup(G)IIで、19都府県(大阪府84、秋田県33、愛媛県33、福岡県22、新潟県13など)から241件が報告されており、ノロウイルスGIは11件(愛媛県5、栃木県2、青森県、神奈川県、奈良県、香川県各1)、ノロウイルスG不明が39件(奈良県16、新潟県11、東京都5など)で、ノロウイルスは合計291件である。この他に、サポウイルスが16件(三重県10、愛媛県3、大阪府2、石川県1)、電顕による検出が6件(福岡県3、広島県2、栃木県1)報告されている。SRSV検出例の年齢は、1歳が77件で最も多く、次いで0歳40件、2歳33件で、全体の約6割が0～3歳の乳幼児であり、約8割は6歳以下からの検出であった。

ロタウイルスは例年年初明け以降に報告が増加し始める。今シーズンはこれまでに20件が報告されている。鳥取県8(第49、50週)、宮城県4(第46、47、50週)、大阪府2(第43、2週)、奈良県2(第49、50週)、徳島県2(第50、51週)、秋田県1(第45週)、岩手県1(第48週)から報告されており、すべてA群である。いずれも6歳以下の小児からの検出であり、うち15件は0～3歳の乳幼児である(0歳4、1歳6、2歳1、3歳4)。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2003/04、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報: 2005年1月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を週に示した。

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

AH3型77件(うち3件はPCRのみによる検出)、B型61件(うち1件はPCRのみによる検出)、AH1型52件の分離・検出が報告されている。

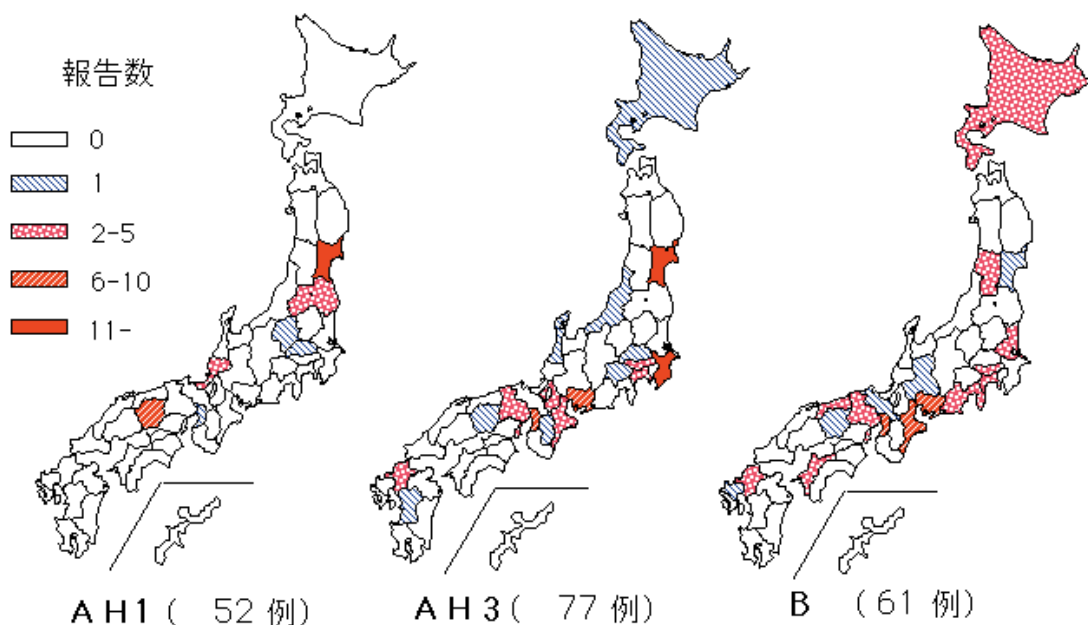
AH3型は北海道から九州にかけて18都道府県から報告されており、N型別された埼玉県からの1件はN2であった。新たに山梨県(第51週)、石川県(第2週)から分離が報告された。地域別では千葉県19、宮城県14、大阪府10、愛知県6、東京都5、兵庫県5などからの報告が多い。2004年第50週～2005年第2週までの週別報告数は11、5、9、7、6、5である。

B型も北海道から九州にかけて18都道府県から報告されている。新たに鳥取県(第49週)、北海道(第2週)、宮城県(第2週)から分離が報告された。地域別では愛知県10、三重県10、大阪府6、兵庫県5、神奈川県4、鳥取県4、愛媛県4などからの報告が多い。第50～2週までの週別報告数は9、7、3、1、6、11である。

AH1型は、7県から計52件の分離が報告されており、このうちN型別された埼玉県からの1件はN1であった。新たに大阪府(第2週)から分離が報告された。地域別では宮城県からの報告が34件(IDWR2005年第1号8ページ速報記事参照)と多く、次いで岡山県7、福島県5、福井県3、群馬県、埼玉県、大阪府各1の報告である。第50～2週までの週別報告数は3、2、26、3、0、1である。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報: 2005年1月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



◆神戸市北区における流行性耳下腺炎の流行

流行性耳下腺炎はパラミクソウイルス科のムンプスウイルスによる感染症で、小児期に好発する。予後は一般に良好であるが、無菌性髄膜炎、睾丸炎・卵巣炎、膵炎など種々の合併症を引き起こすことがあり、ときに高度難聴などの後遺症を残す。

2004年11月1日～12月20日の期間に、神戸市北区の小児科定点から61名の流行性耳下腺炎患者発生が報告された。臨床症状は38℃前後の発熱、耳下腺および顎下腺の腫脹などで、典型的な流行性耳下腺炎の症状を呈していた。当研究所は医療機関の協力を得て、流行性耳下腺炎と診断された小児61名から採集した咽頭ぬぐい液および唾液について、PCR法による遺伝子検査およびウイルス分離検査を実施した。

Vero-E6細胞に接種後、19名の検体で細胞変性効果(融合巨細胞の形成)が確認され、ムンプスFA試薬を用いた直接蛍光抗体法によりウイルスの同定を行った。また、細胞変性効果が認められなかった42名の咽頭ぬぐい液および唾液については、PCR法による遺伝子検査を実施した。そのうち、18名の検体からムンプスウイルスの遺伝子が検出された。ウイルス分離およびPCR法によるムンプスウイルス検出数は37例で、検出率は61%であった。

ウイルスが検出された37名のうち、2歳児は2名(5%)、3歳児は2名(5%)、4歳児は5名(14%)、5歳児は11名(30%)、6歳児は10名(27%)、7歳児は6名(16%)、8歳以上は1名(3%)であり、4～7歳の患児が32名(86%)と8割以上を占めていた。発生分布から見ると、A小学校9名、F幼児園9名、S幼児園5名、K幼児園4名であった。また、家族内での二次的な発症は4名、散発は4名であった。これらの状況から、ムンプスは幼稚園および小学校の集団内で流行していることが推測される。また37名のうち、ムンプスの予防接種を受けたのは1名、接種歴不明は2名、残り34名は予防接種を受けていなかった。

弱毒ムンプスワクチンは1981年に導入されたが、費用の支出を伴う任意接種であるために、接種率は必ずしも高くない状態が続いている。1989年4月から定期接種として無料のMMRワクチンを選択することが可能となり、神戸市のMMRワクチンの接種率は85%であった。しかし、MMRワクチンは無菌性髄膜炎の多発により、神戸市では1991年9月に原則として中止した。その後のムンプスワクチンの接種率については正確に把握されていないが、ワクチン供給状況からみて、接種を受けている幼児は1/4にすぎないと推測している。

今回発生したムンプスの集団内での流行は、ワクチン接種率の低さが一因と考えられる。ムンプスサーベイランスの長期成績では、2～3年の間隔で2年余にわたって流行する傾向がある。最近では、2000年後半～2002年前半にかけて全国規模の大きな流行があったことから、2005～2006年にかけて再び流行する可能性がある」と推測される。この流行を阻止するためには、ワクチンの接種率を上げることが急務である。

神戸市環境保健研究所・微生物部

飛澤笑山 奴久妻聡一 秋吉京子 須賀知子

にしむら小児科医院

西村清子

(IASR2004年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

●フィリピンで髄膜炎菌性疾患の流行－更新

WHO/CSR 2005年1月19日

2004年10月1日～2005年1月16日に、髄膜炎菌性感染症患者について、バギオ市から患者38名と死亡者18名(致死率47%)、バギオ市以外のCordillera地域からは、患者40名と死亡者12名(致死率30%)が報告された。患者総数78名中11名につき、バギオ市病院と熱帯医学研究所によって髄膜炎菌*N. meningitidis*感染と確認された。

2005年1月7日以降、週当たりの新規患者数は減少している。

●チャドで髄膜炎菌性疾患の発生－更新

WHO/CSR 2005年1月20日

2005年1月6～18日に、チャド北部のBrejing難民キャンプ、Treijing難民キャンプ、Farchana難民キャンプから髄膜炎菌性疾患患者8名が報告された。今回の患者4名はラテックス凝集試験法により、髄膜炎菌血清型W135群(*Neisseria meningitidis* W135)陽性となった。WHO協力センターであるSanté des Armées熱帯医学サービス研究所(IMTSSA)で、培養検査により血清型W135群が確認された。

●ベトナムでの鳥インフルエンザの状況－更新

WHO/CSR 2005年1月21日

ベトナム北部出身の兄弟2名が検査により、鳥インフルエンザ(H5型ウイルス株)感染と確認された。

1例目はThai Binh省在住の46歳男性で、1月1日に発病し、1月9日に死亡した。

2例目はハノイ市在住の42歳男性で、1例目の患者の弟である。兄が発症した9日後の1月10日に発病した。現在もハノイ市内で入院中であるが、回復しつつある。この患者は、ハノイ市内の同じ病院で治療を受けていた兄の看病をしていたことが確認されている。今回の新規患者に関する調査では、2つの可能性が考慮されている。

第一の仮説は、42歳の弟が兄から直接感染した可能性である。現時点での証拠によると、鳥インフルエンザウイルスのヒト・ヒト感染は、限定的で非継続的な単発的な発生である可能性が高いと考えられている。今回の患者発生は、現行のパンデミック警戒態勢レベルになんら変化は及ばさない。Tai Binh省とハノイで、これら男性患者2名との密接な接触者に対する呼吸器症状発症の強化サーベイランスが開始されているが、幸いにも現在までのところ、密接な接触者でそのような症状を呈する人は見つかっていない。ベトナム保健当局は、この兄弟2人の感染源に関する緊急調査を開始した。ベトナム国内にいるWHOスタッフは、緊密に情報提供を受けている。

第二の仮説は、家禽からヒトに直接感染伝播した可能性である。暫定的な調査からは、患者家族の食卓に、アヒルの生の血液と組織を含む食事が供されたことが指摘されている。

ベトナム公衆衛生当局は繰り返し、アヒルの生き血や生あるいは十分加熱されていない家禽製品を用いた料理を摂取しないよう勧告している。予防的措置として、家禽で高病原性H5N1型鳥インフルエンザ流行が確認された全ての国では、生の家禽の一部や臓器を含む同様な料理法は避けるべきである。

現時点では、家禽との接触が原因とされた大部分の患者は、自宅周囲で死亡または発病した鳥類に曝露したことにより感染したと考えられている。これまでの事実からは、特に危険性の高い曝露は屠殺、羽毛をむしる、または調理の際に発生することが示唆される。

適切な加熱調理により、H5N1型ウイルスは不活化される。一般的に、WHOでは、家禽は、全ての部分が内部温度として70°Cに達するまで調理することを勧告している。完全に加熱された家禽や卵製品の摂取と関連したH5N1型感染の例はない。

メディア報道によると、35歳の三男が入院したが、診断は確定していない。今回の患者2名の診断確定で、2004年12月中旬以来のベトナムでの鳥インフルエンザ感染患者総数は8名となった。うち7名が死亡している。以前発表されたTien Giang省出身の18歳女性患者は、1月19日に死亡した。



感染症の話

◆クリプトスポリジウム症

従来、クリプトスポリジウム(*Cryptosporidium*)はウシ、ブタ、イヌ、ネコ、ネズミなどの腸管寄生原虫として知られてきたものであるが、ヒトでの感染は1976年にはじめて報告された。1980年代に入ってから後天性免疫不全症候群(AIDS)での致死性下痢症の病原体として注目され、その後ほどなく、健常者においても水様下痢症の原因となることが明らかとなった。

英米両国では1980年代中頃から頻繁に、水系汚染に伴う集団発生が報告されるようになっていく。その中で、1993年に米国ウイスコンシン州ミルウォーキー市では、40万人を超える住民が本症に罹患する未曾有の集団感染が起こっている。わが国では、1994年に神奈川県平塚市の雑居ビルで460人あまりの患者が発生し、1996年には埼玉県入間郡越生町で町営水道水を汚染源とする集団感染が発生し、8,800人におよぶ町民が被害を被った。したがって、本症に関しては散発例よりも、むしろ水道水や食品を介した集団発生が重要となる。

疫学

ヒトおよび家畜における感染状況は国により異なるものの、世界中で感染が認められる。1997年にまとめられた文献調査によると、健常者の下痢症については、発展途上国では6.1%、先進国では2.1%が本原虫の感染に起因していた。一方、HIV陽性者の下痢症の場合、それぞれ24%および14%が本原虫によるものであった。一方、ウシを中心とした調査では、患畜を含めると非常に高い感染率が示されている。わが国でも幼若齢のウシやブタから頻繁に検出されており、畜産の分野では必ずしもまれな病気ではない。また、イヌ、ネコなどからの検出の報告もある。

ちなみに、上述の集団感染事例を除いたわが国での散発例はきわめて少なく、ある集計によると1986年～1997年1月の全症例数は37人で、海外旅行者13人、エイズ患者12人、獣医学関係学生(感染牛との接触)9人となっている。また、1999年4月の感染症法施行から2003年12月までに届けられたクリプトスポリジウム症報告数は、2002年を除き、多くても年間10例程度である。これらの数値の示すところが、本症に対する関心の低さに原因していなければ幸いである。2002年には例外的に109件の報告がなされているが、同年には北海道を舞台とした集団感染が発生しており、その結果が反映されたものである。

病原体

クリプトスポリジウム(*Cryptosporidium*)は孢子虫類に属する原虫で、ヒトへの感染は主に*C. parvum*とされるが、DNA解析によってヒト型、ウシ型、トリ型、その他の遺伝子多型を示すことが明らかになっている。HIV/AIDS患者ではさらに*C. baileyi*など異種の感染も否定できない。クリプトスポリジウムは宿主の腸管上皮細胞の微絨毛に侵入して寄生体胞を形成し、無性生殖によりメロゾイト形成を行う(図1、2)。宿主細胞から遊離したメロゾイトは再び微絨毛へ侵入することで著しく数を増す。やがて有性生殖の過程へ移行し、直径4～5 μm程度のほぼ球形のオーシストが形成される。オーシスト内では4個のスポロ

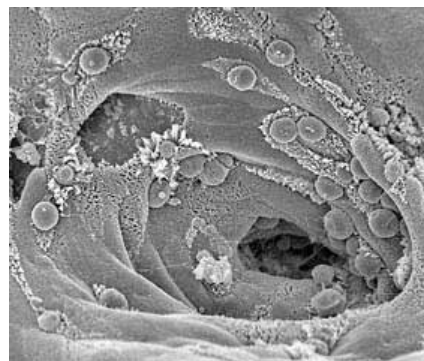


図1. *Cryptosporidium* 感染マウス腸管の走査電子顕微鏡像

ゾイトが発育し、この時点で感染性を有するようになる。微絨毛から脱離したオーシストはその場でスポロゾイトを放出して自家感染を繰り返すか、糞便とともに外界へ排泄されて、水や食品に混じって新たな感染を起こす。感染者1人が排出するオーシストは 10^{10} 個にのぼるといわれている。

臨床症状

健常者: 免疫の正常な人が罹患した場合の臨床症状は、下痢(主に水様下痢)、腹痛、倦怠感、食欲低下、悪心などであり、軽度の発熱を伴う例もある。潜伏期間は3～10日で、大多数の患者は9日以内に発症している。下痢は1日数回程度から20回以上の激しいものまで多様で、数日から2～3週間持続し、自然治癒する。原因微生物が検出されない旅行者下痢症、あるいは既知の腸管系病原体を検出した症例であっても不可解な腹部症状が持続する場合には、ジアルジア症とともに本症を考えるべきであろう。また、集団下痢症が発生した際に通常の病原体が検出されない場合には、本症の可能性を念頭において検査を進める必要がある。

HIV/AIDS患者: 本原虫は、免疫不全宿主に重症・難治性・再発性・致死性下痢症を発症させる。下痢は非血性であり、その程度は軟便・泥状から水様便まで様々であるが、免疫不全の進行とともに重症化する傾向がある。重症例では、コレラにみられるような大量の水様便や失禁を伴うことが報告され、このような例では本感染症が直接死因となることがある。治療にあたってはいくつかの薬剤が使用されるが、効果は一過性であり、多くの場合に再発、再燃する。また、免疫不全の進行や投薬の中止とともに症状が増悪する。健常者での感染部位は小腸付近に限られるが、HIV/AIDS患者では胆嚢、胆管や呼吸器系への異所寄生も報告されている。

病原診断

クリプトスポリジウム症の診断は、検便でオーシストを検出することによる。急性期の患者便には多量のオーシストが排出されているが、通常の塗抹標本観察では確認がむずかしい。遠心沈殿法やショ糖浮遊法により集オーシストを行い、蛍光抗体法、抗酸染色、ネガティブ染色などの染色標本を作製することが望まれる。蛍光抗体染色(図3)が最も感度がよい検査法で、市販の簡便な染色用キットがある(未承認のため保険適用外)。オーシストの内部構造観察には、微分干渉顕微鏡が用いられる(図4)。

検査法などに関しては[<http://www.nih.go.jp/niid/para/atlas/japanese/crypt.html>]を参照されたい。

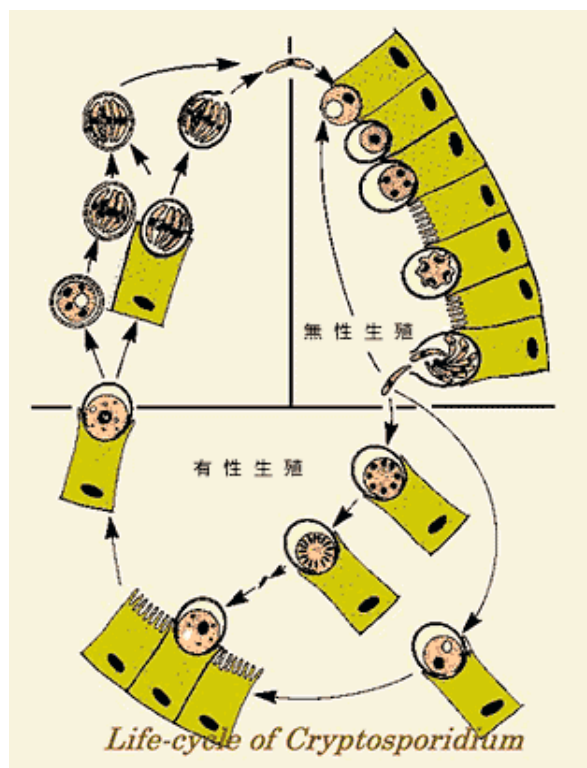


図2. *Cryptosporidium* の生活史

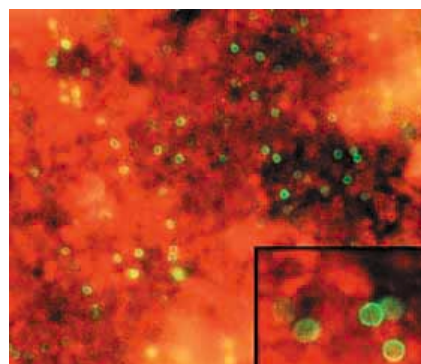


図3. *Cryptosporidium parvum* オーシストの蛍光抗体染色像

治療・予防

下痢の程度が軽度である場合には、非特異的治療法である(1)食餌制限、(2)水・電解質の摂取(WHO処方によるORSで、いわゆるスポーツ飲料水がこれに近い組成)を行う。これに加えて鎮痙剤、激しい下痢症例では止瀉剤が用いられている。

HIV/AIDSに合併した症例で長期間持続する下痢症に対しては、パロモマイシン(2グラム、3週間)の経口投与が行われる。症状が寛解した段階で、パロモマイシンの維持投与を行うこともある。また、新規薬剤ニタゾキサニドの効果も期待されている。パロモマイシン、ニタゾキサニドともに国内では発売されていないが、「熱帯病治療薬研究班(略称)」(<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/didai/orphan/index.html>)が保管している。

クリプトスポリジウムは強い感染力を持ち、米国でのヒトへの感染実験では130個程度の経口摂取で半数が感染すると計算されている。その後、株によって毒性に差があることが示され、10個未満の摂取で発症するとの報告もある。オーシストの感染力は、水中で数カ月程度維持されるものと考えられている。また、通常の浄水処理(凝集、沈殿、濾過)で完全に除去することは困難で、塩素消毒にも抵抗性であることから、水道水汚染には注意が必要である。近年では水泳プールを介した集団感染も注目されている。HIV/AIDS患者をはじめとする免疫機能低下患者は、生水の摂取などを避けるべきであろう。

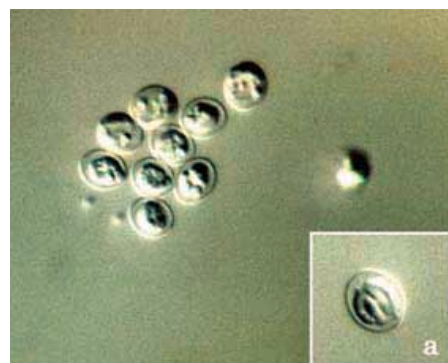


図4. *Cryptosporidium parvum* オーシストの微分干渉像

感染症法における取り扱い

クリプトスポリジウム症は5類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

○診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

・病原体の検出

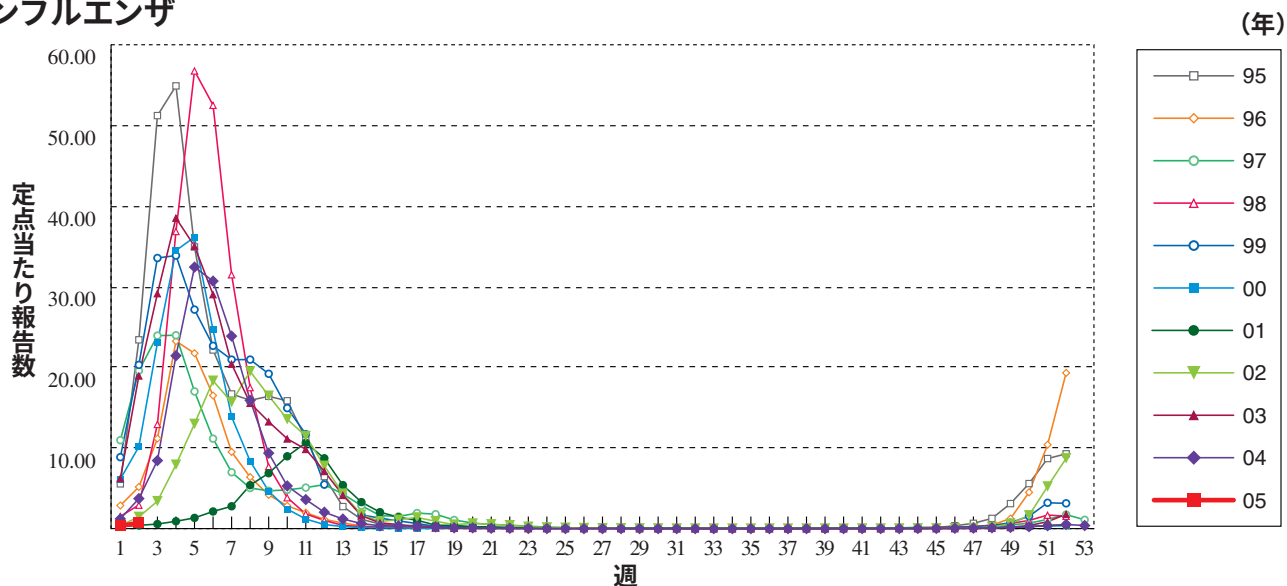
例 糞便などからの鏡検による原虫(オーシスト)の証明など

(国立感染症研究所寄生動物部 遠藤卓郎)

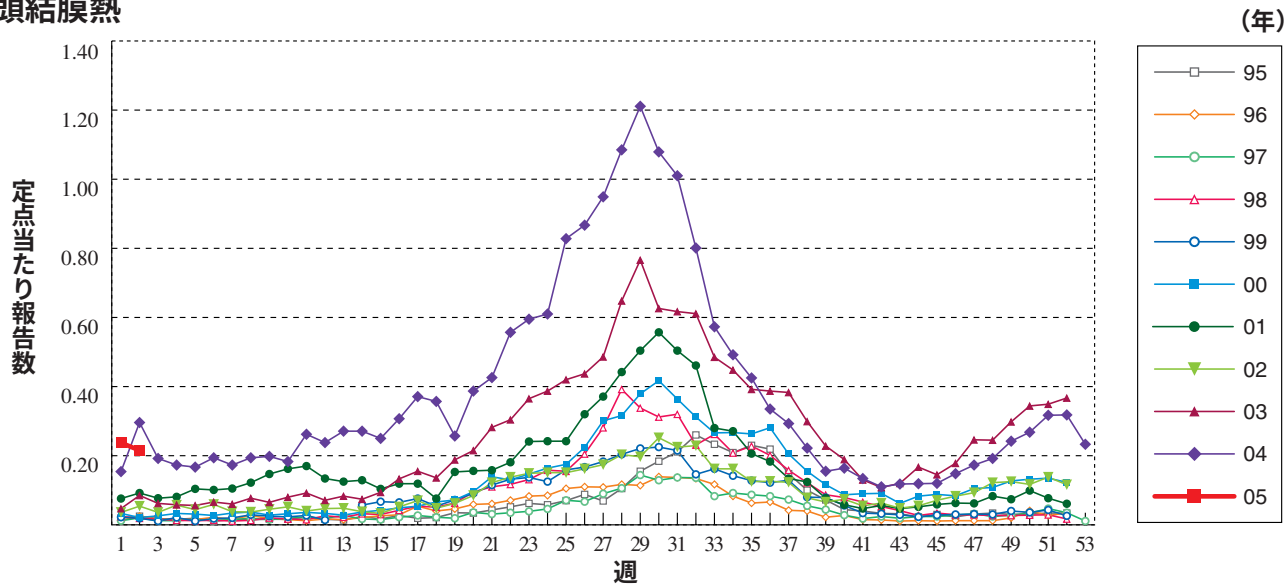


グラフ総覧(2週)

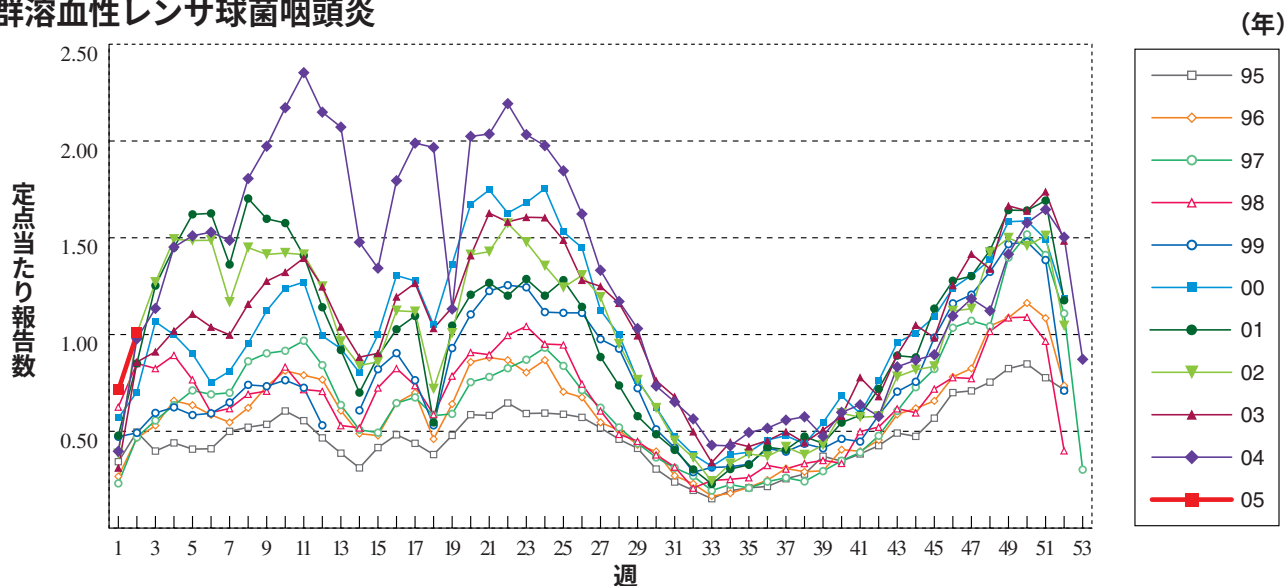
インフルエンザ



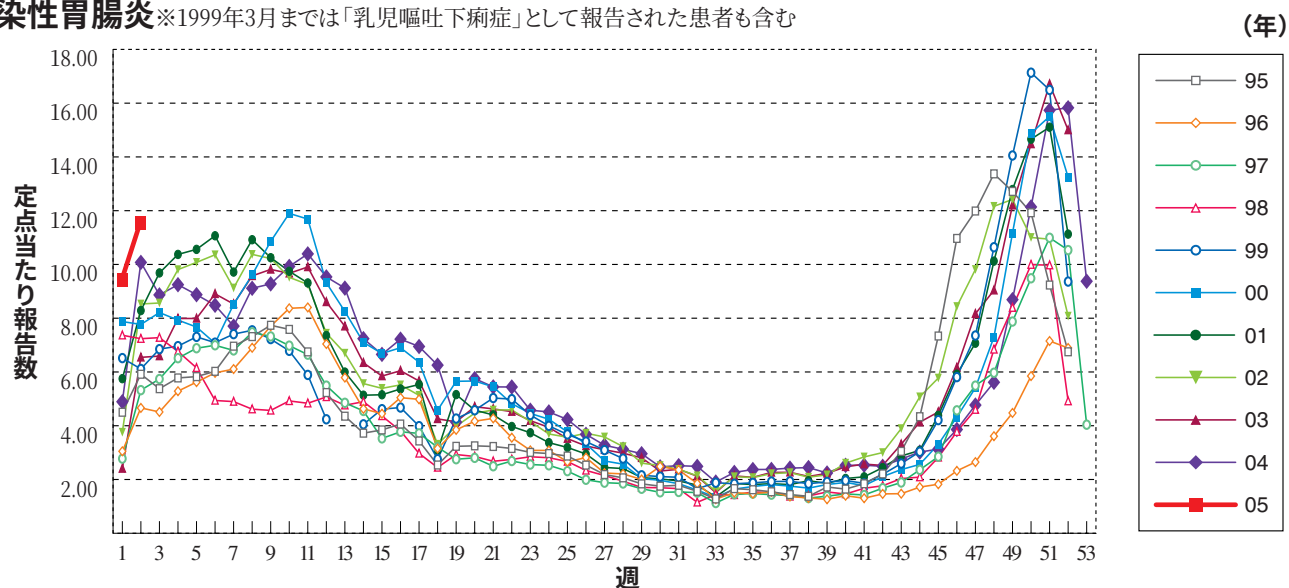
咽頭結膜熱



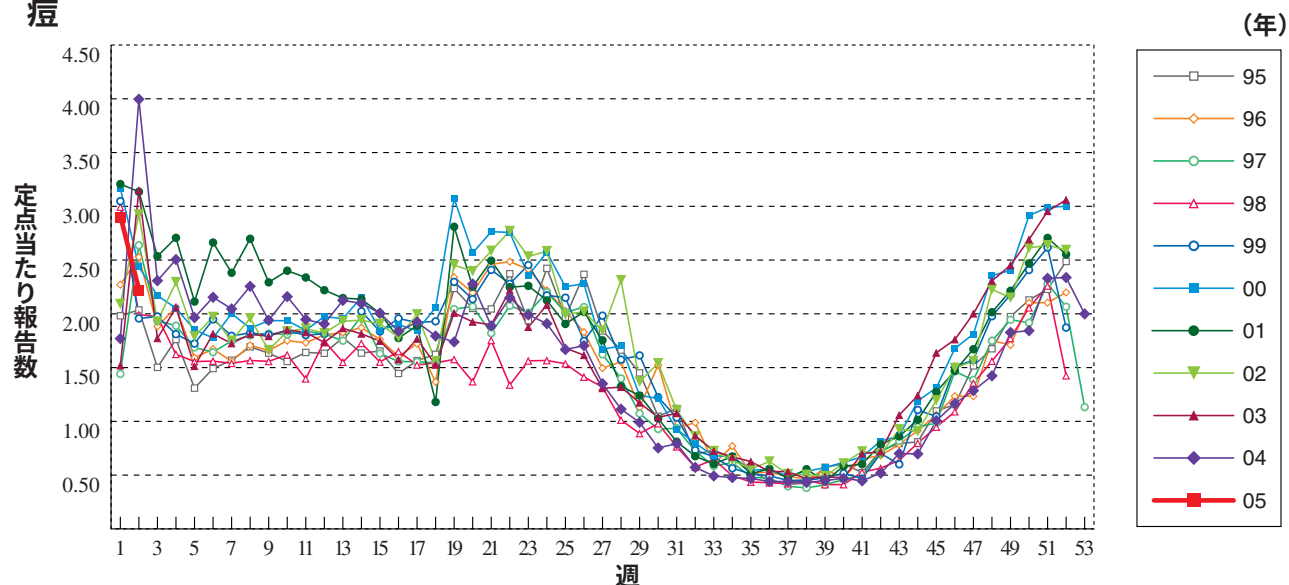
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



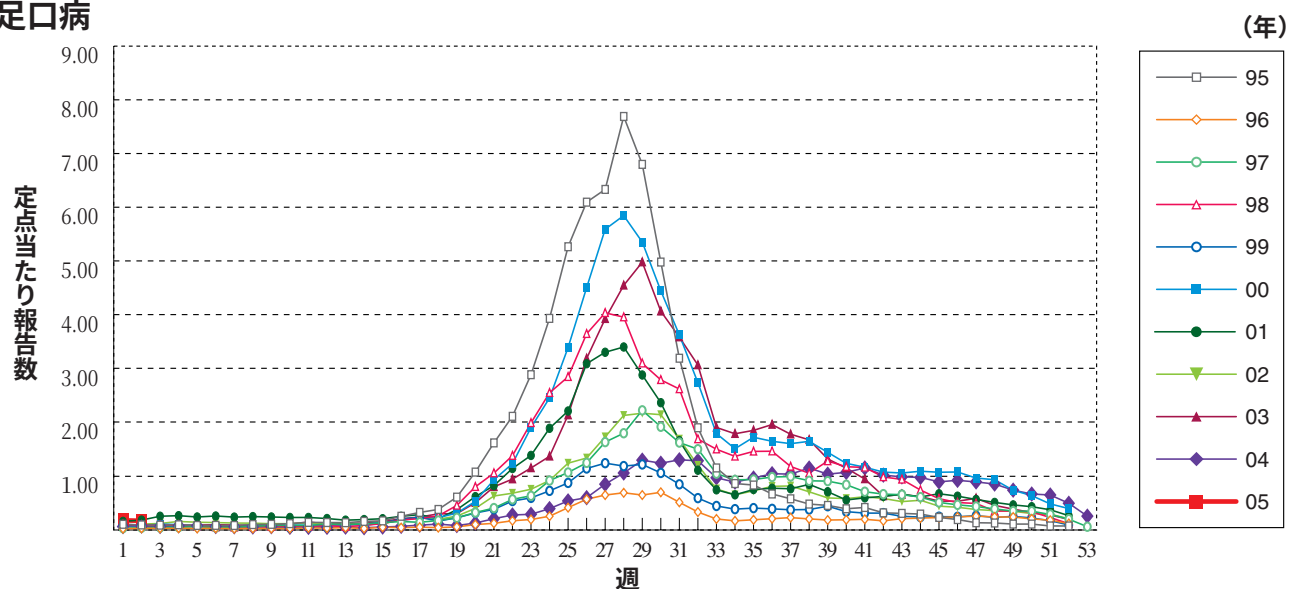
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



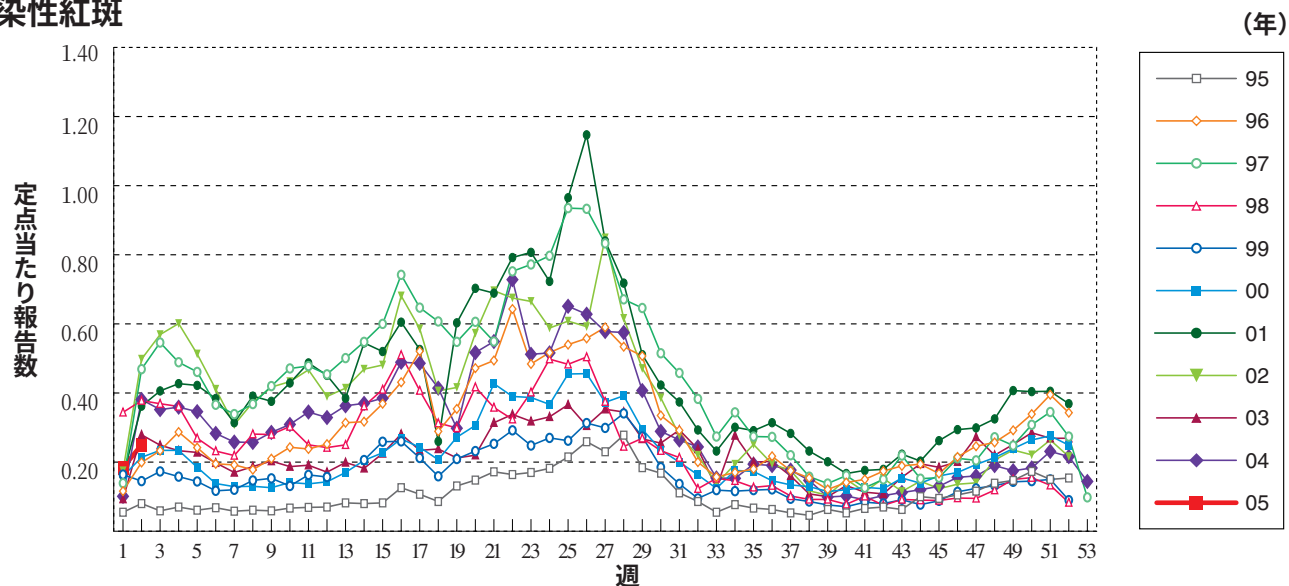
水痘



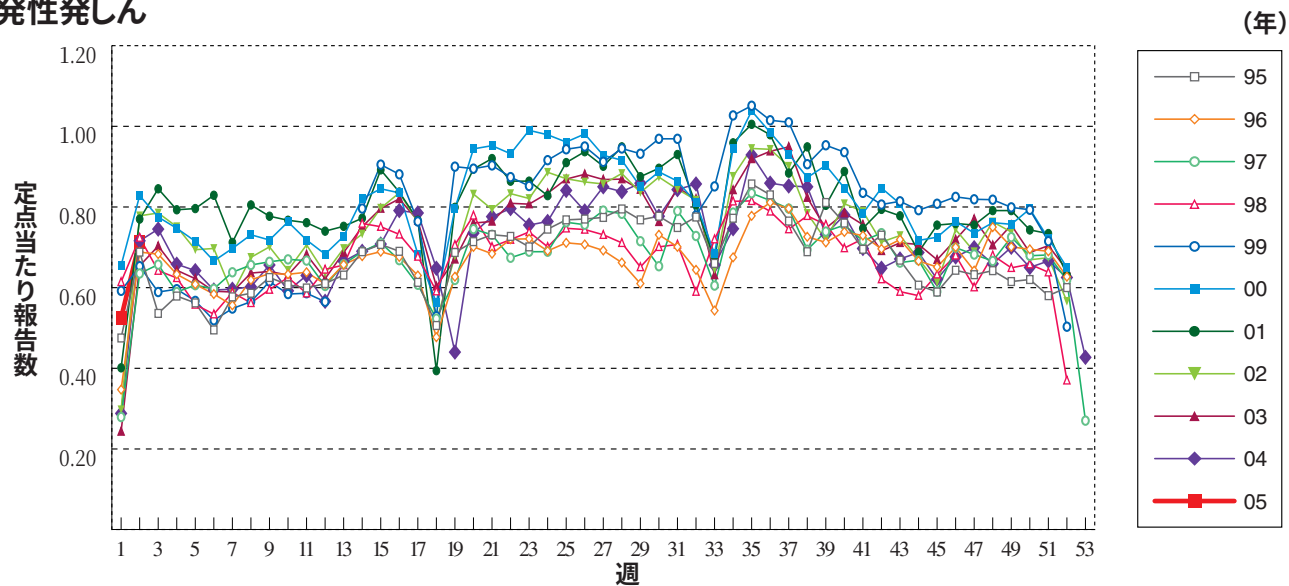
手足口病



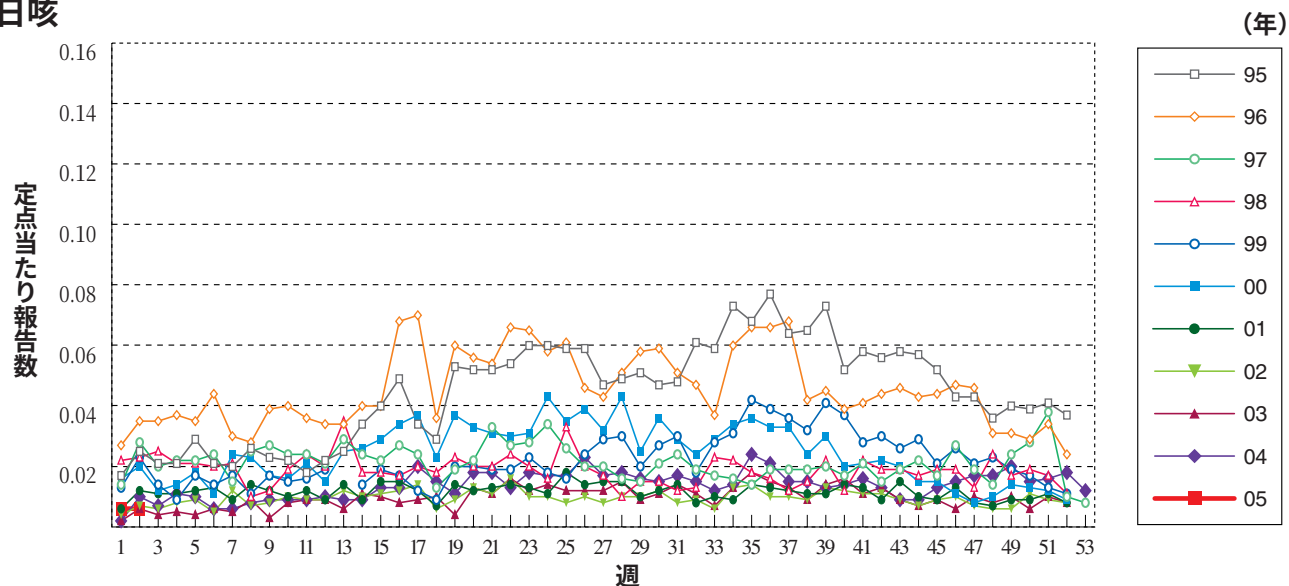
伝染性紅斑



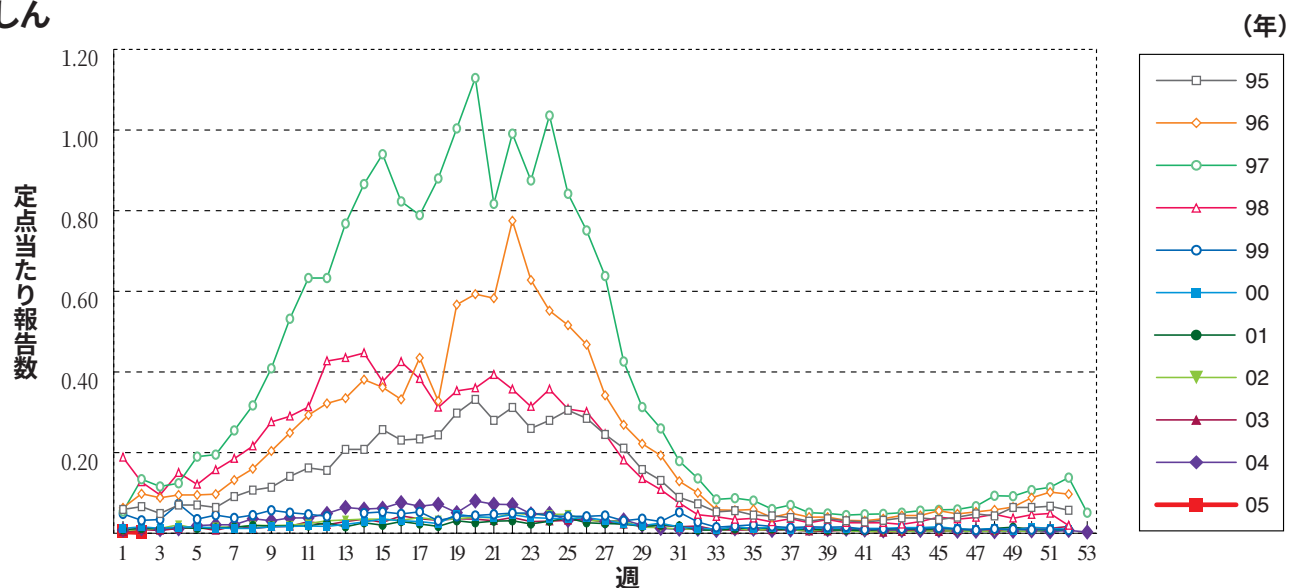
突発性発しん



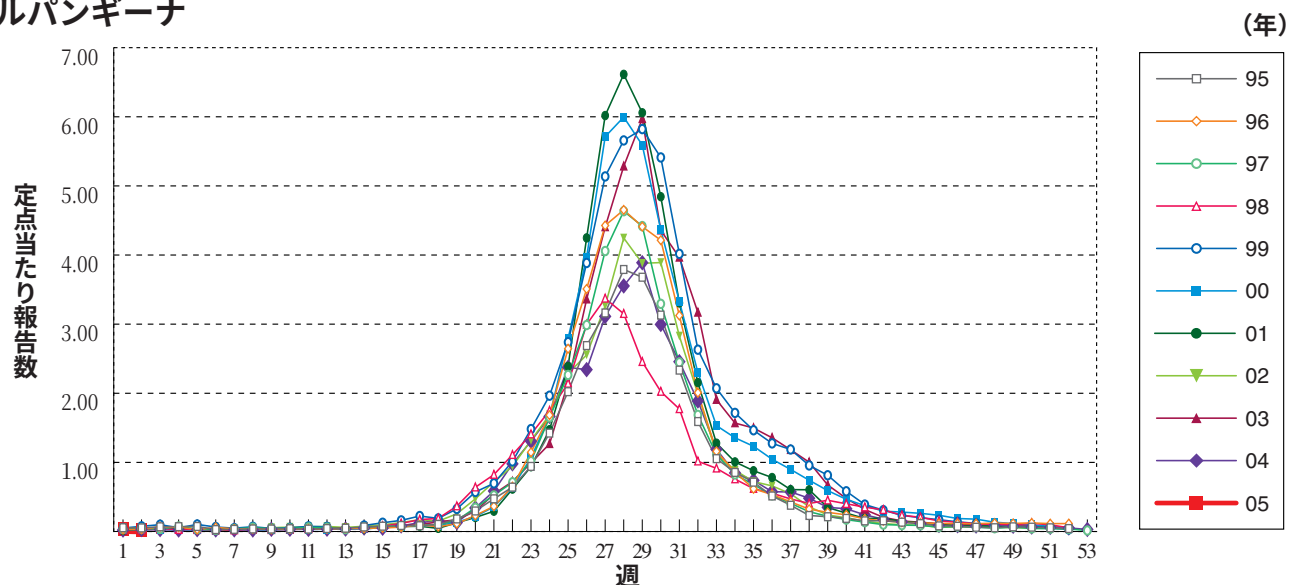
百日咳



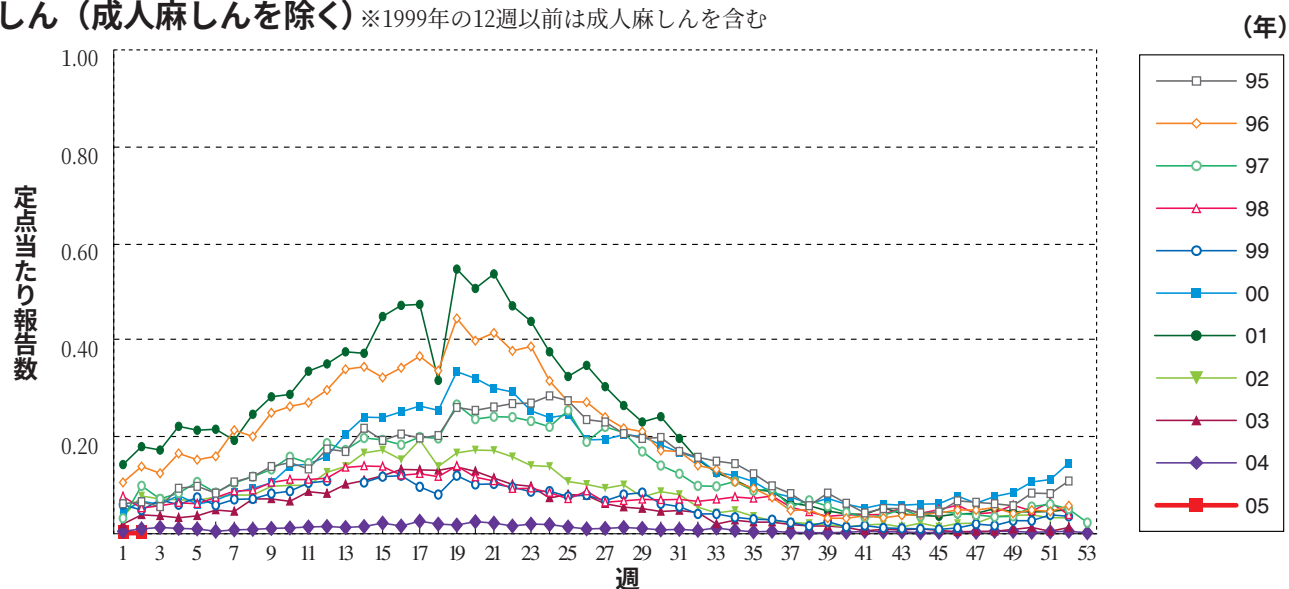
風しん



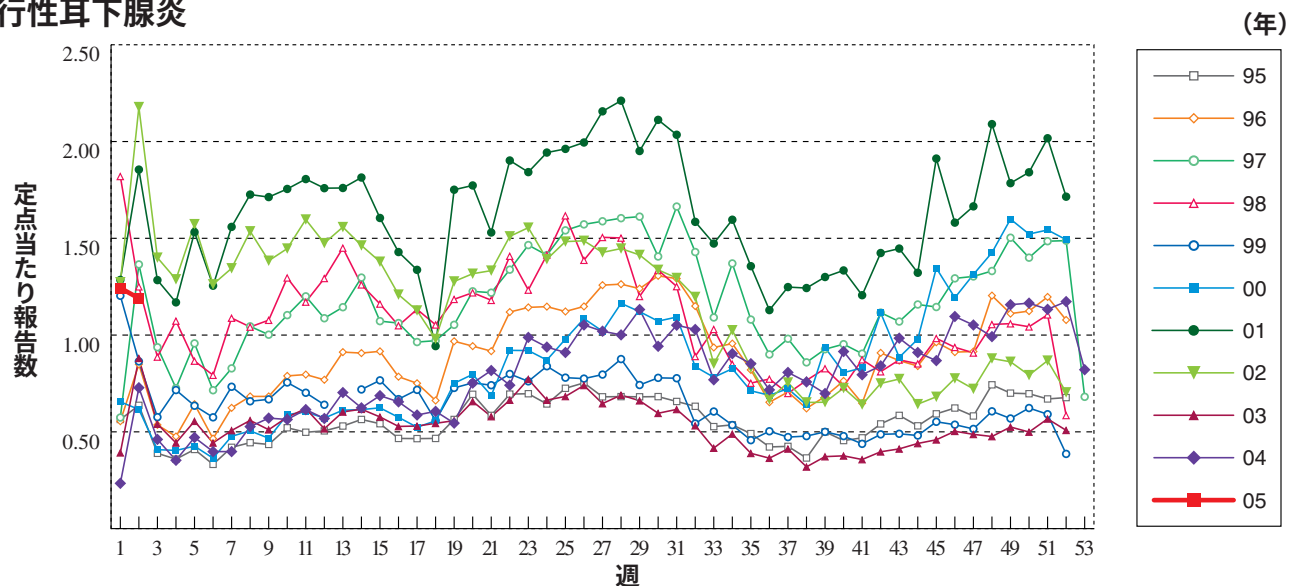
ヘルパンギーナ



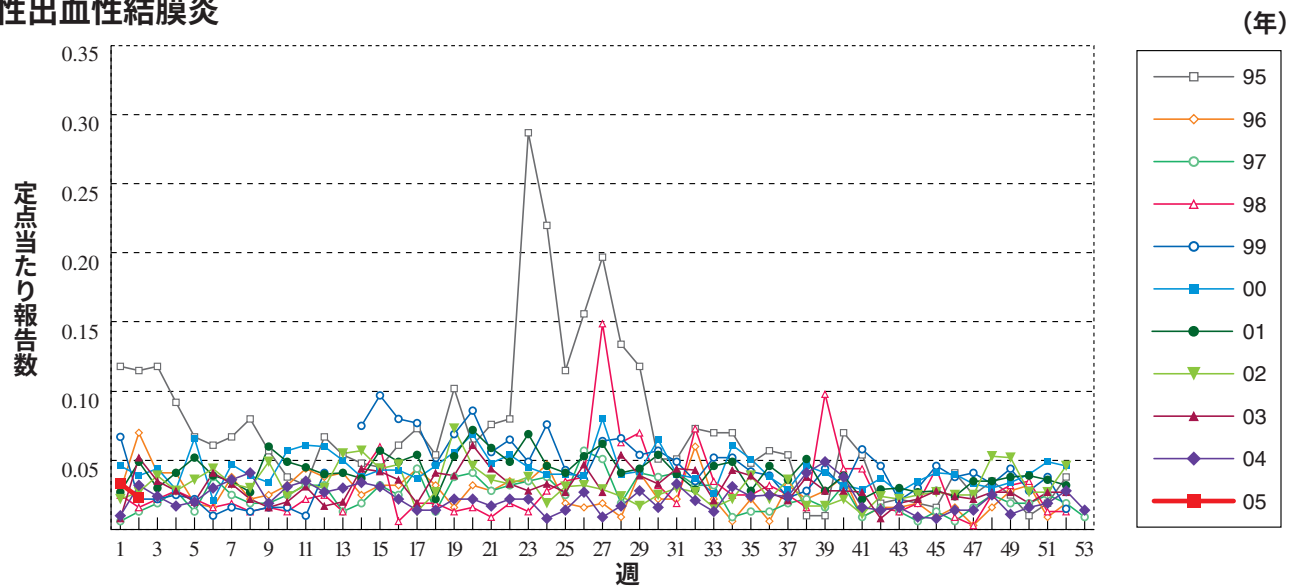
麻しん (成人麻しんを除く) ※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



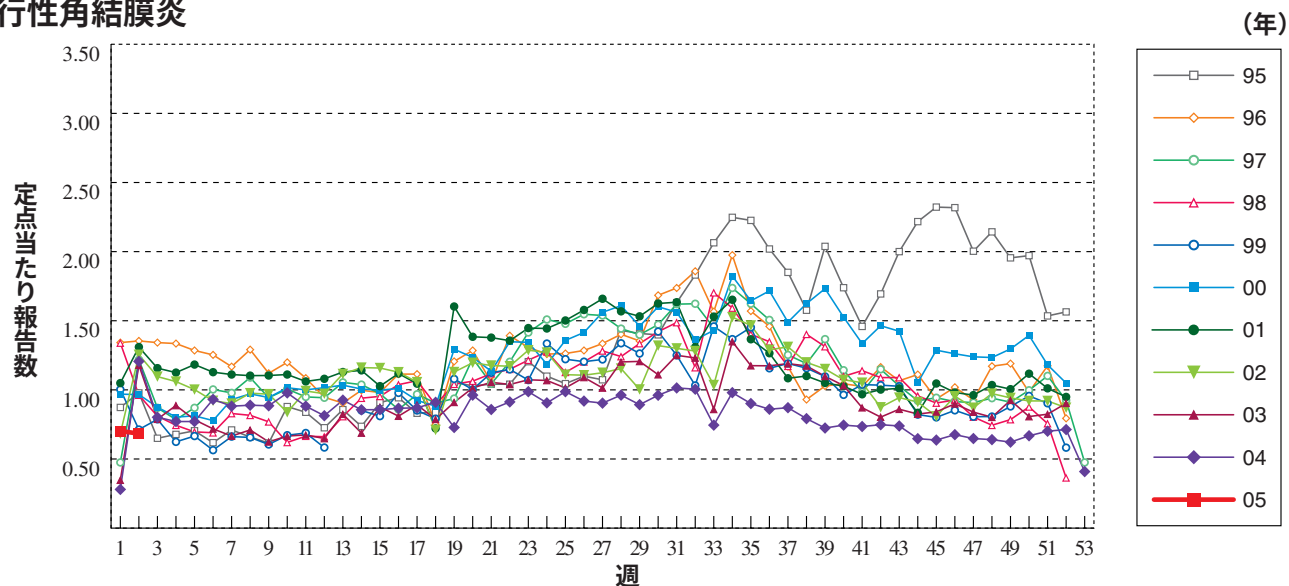
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

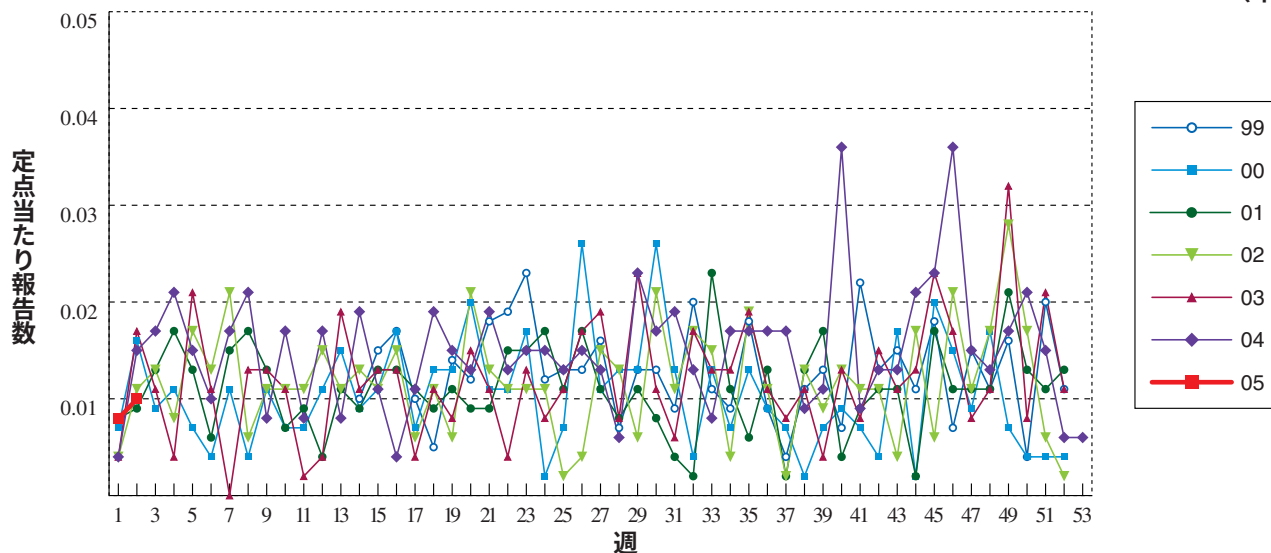


流行性角結膜炎



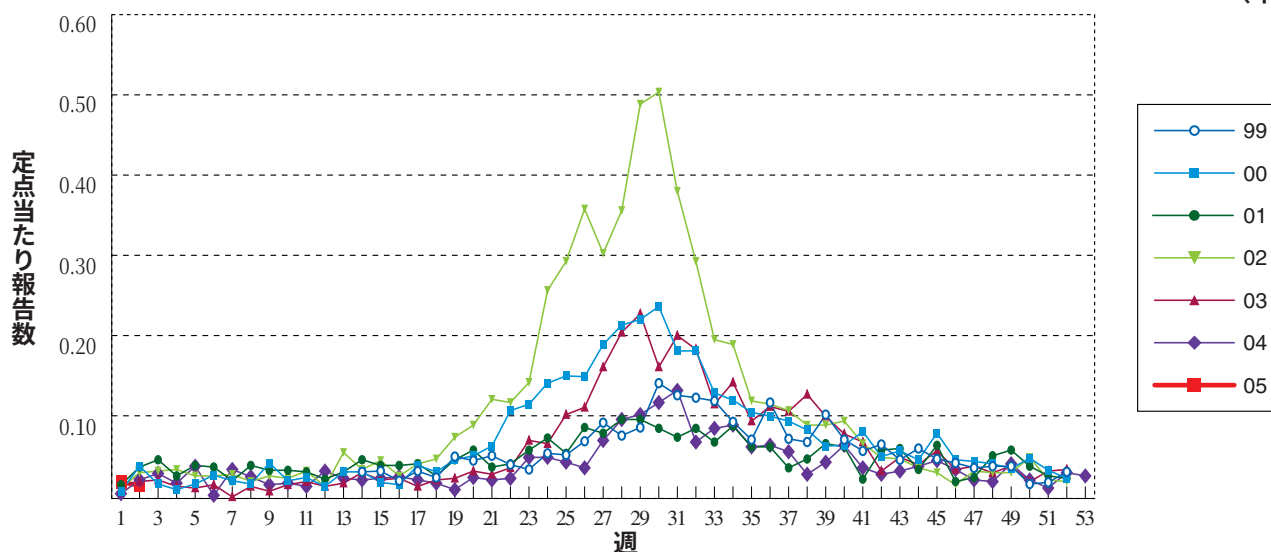
細菌性髄膜炎

(年)



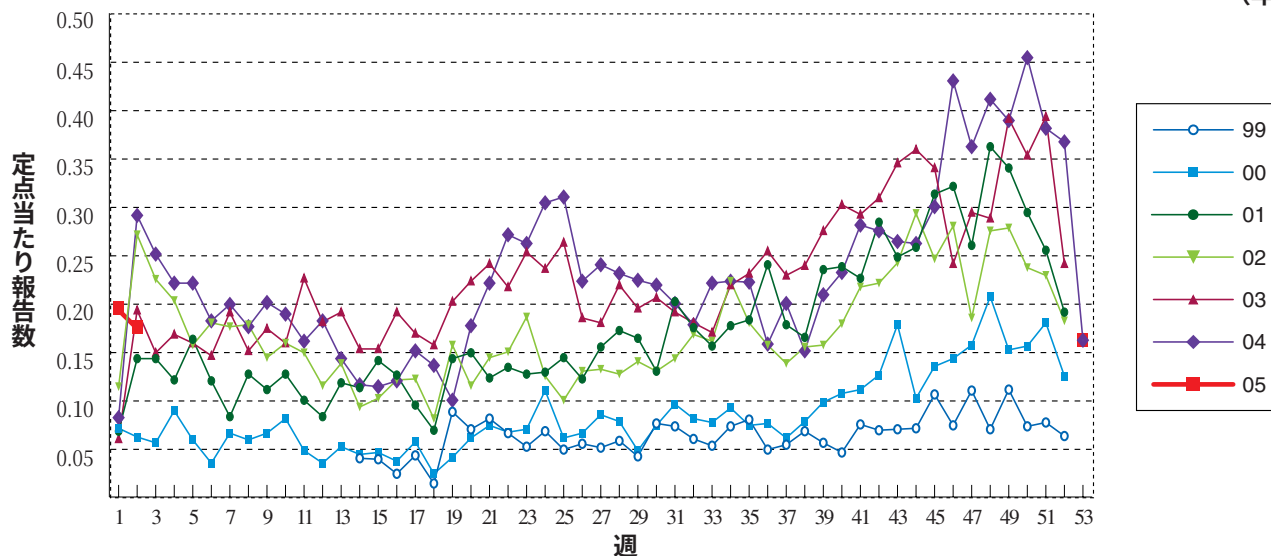
無菌性髄膜炎

(年)



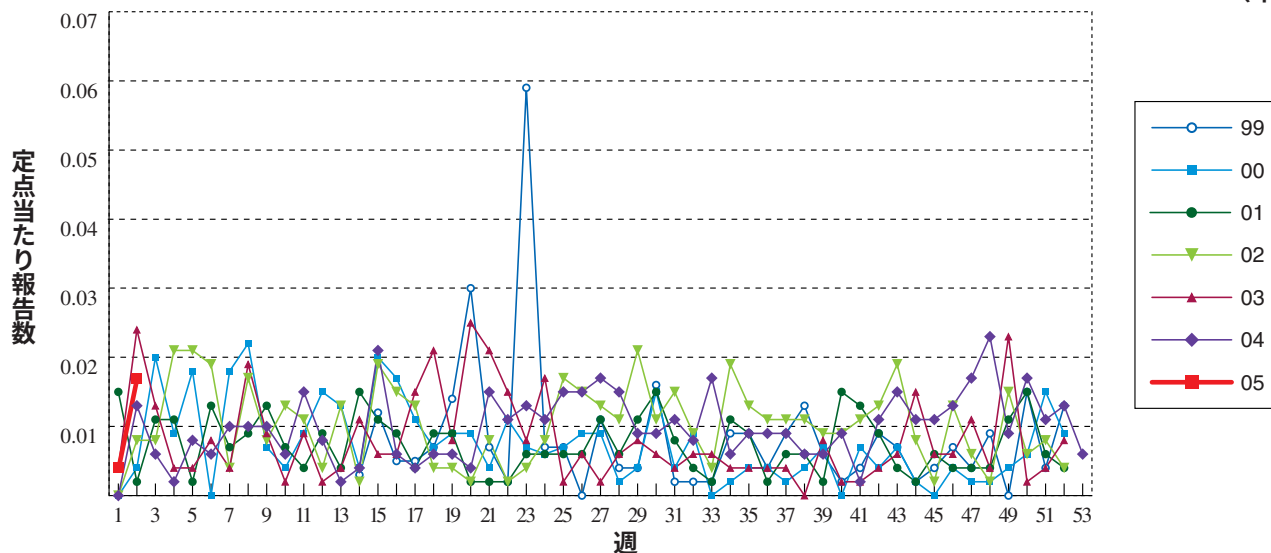
マイコプラズマ肺炎

(年)



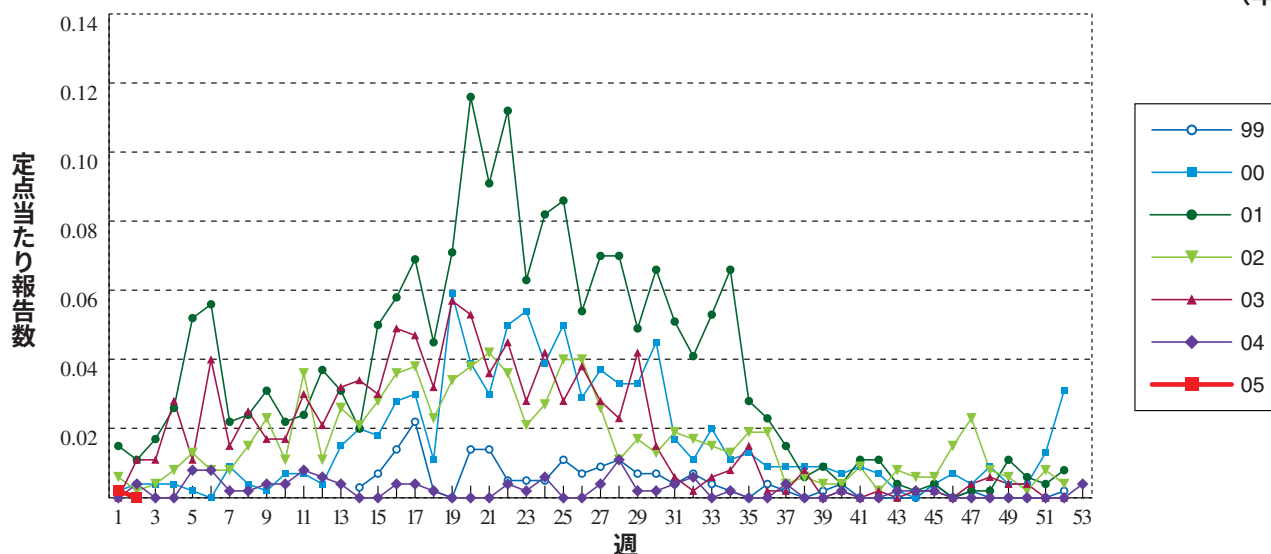
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



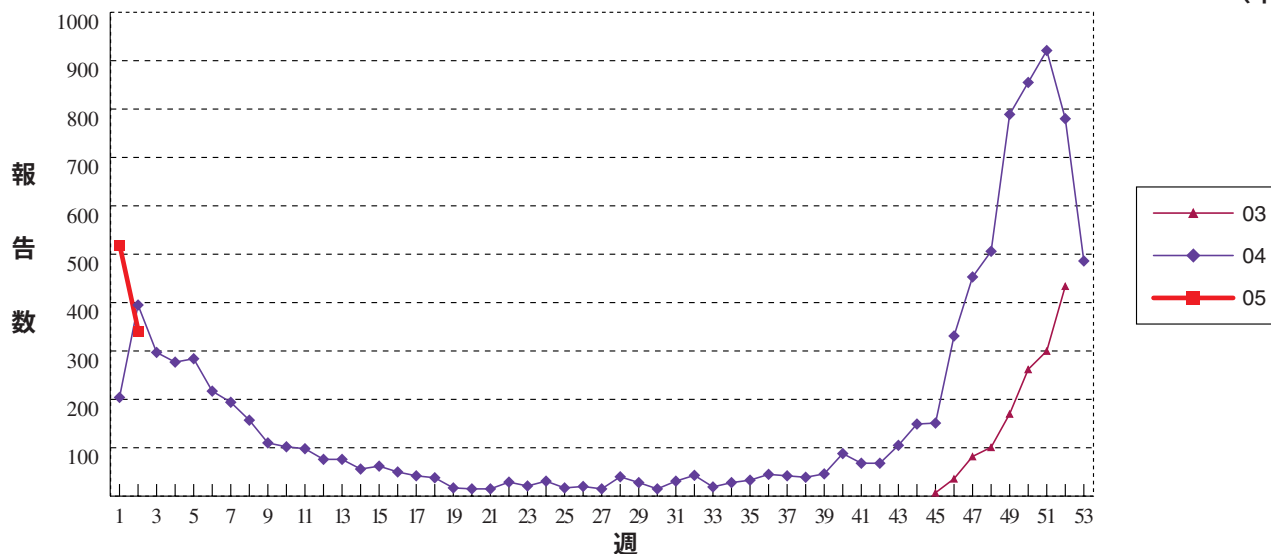
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)

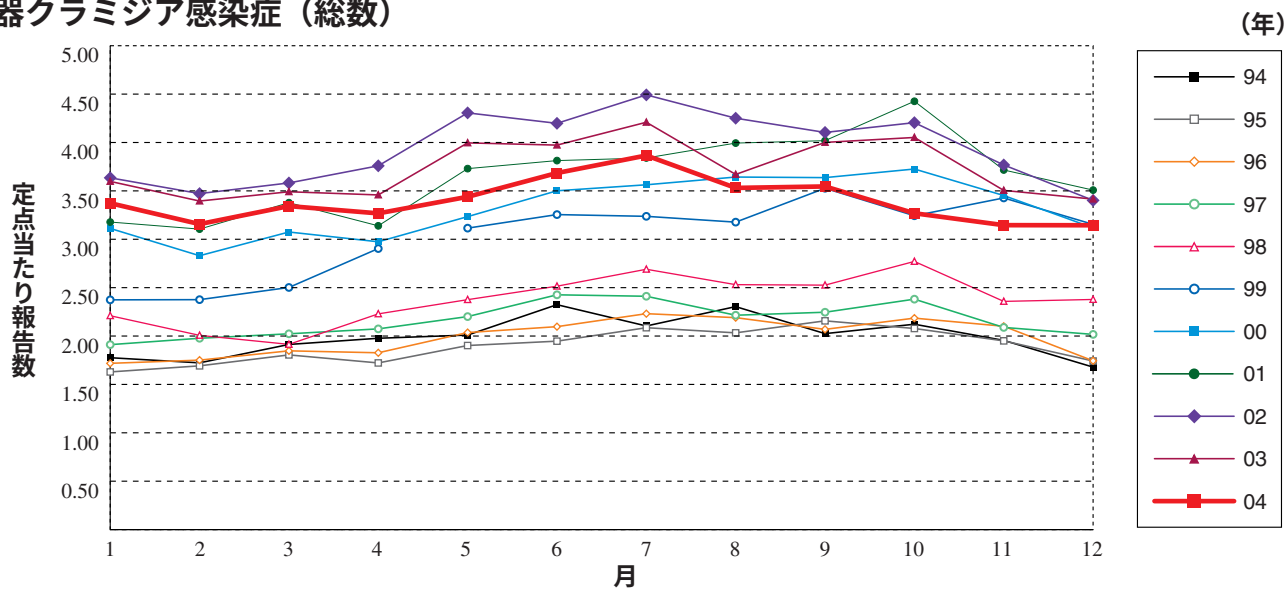




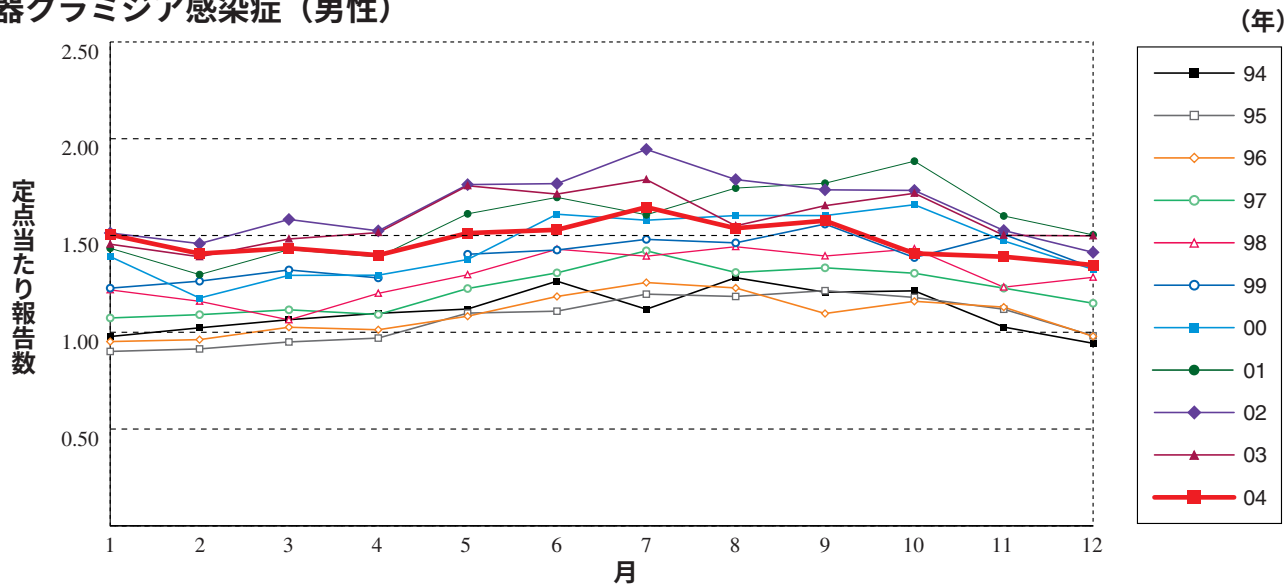
グラフ総覧(12月)

注) 1999年4月以降は定点設定が変更されております。

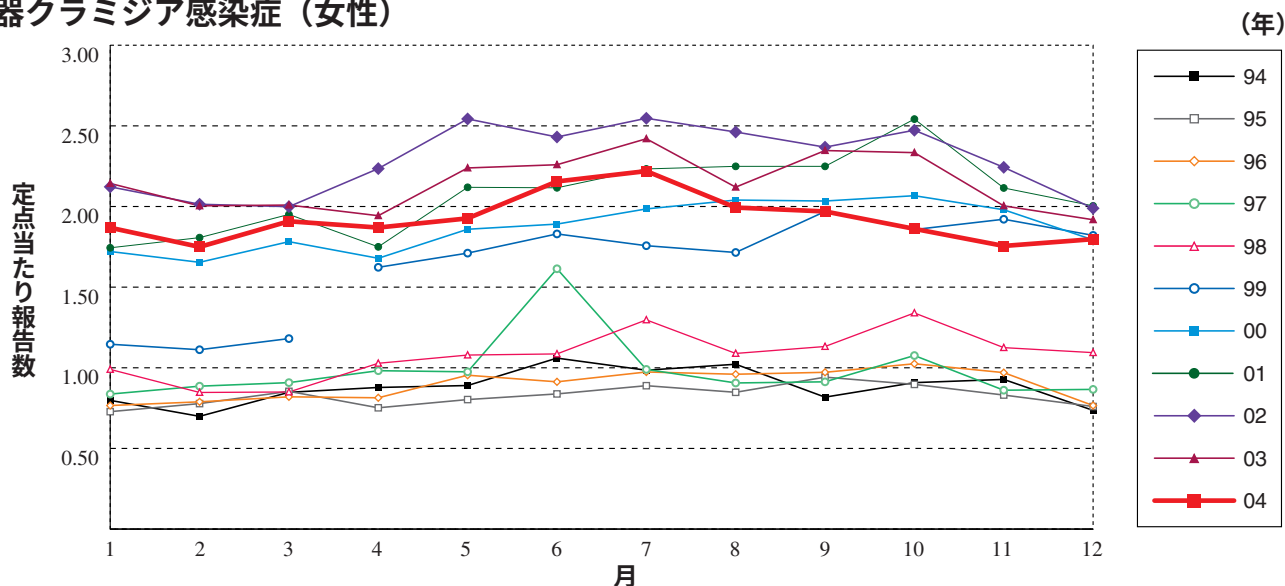
性器クラミジア感染症 (総数)



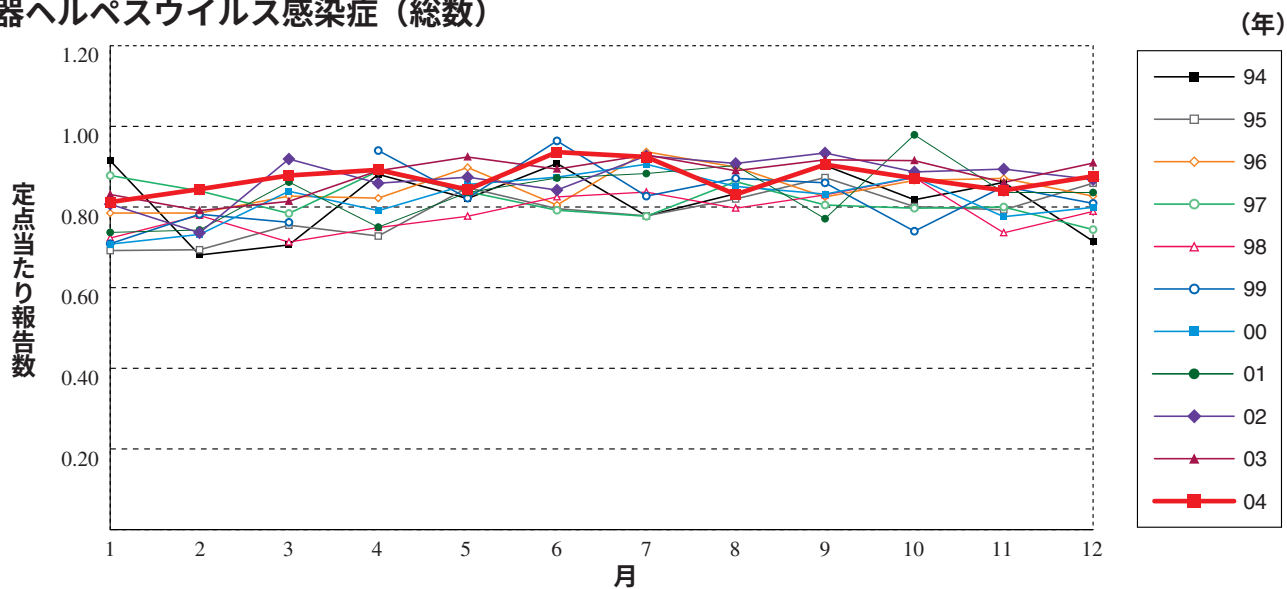
性器クラミジア感染症 (男性)



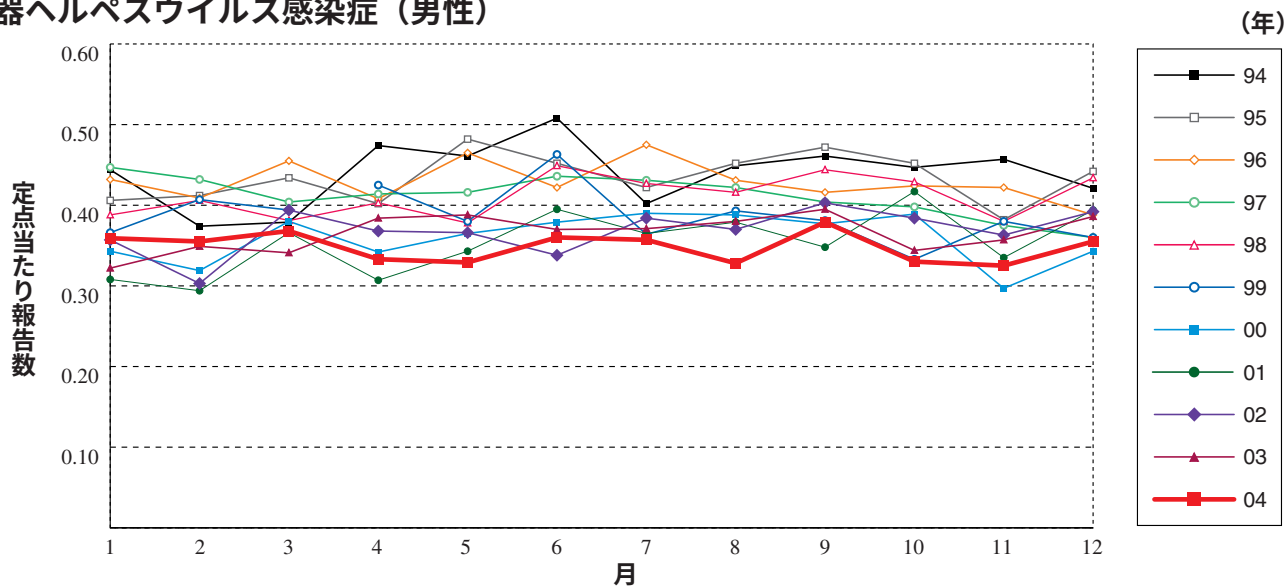
性器クラミジア感染症 (女性)



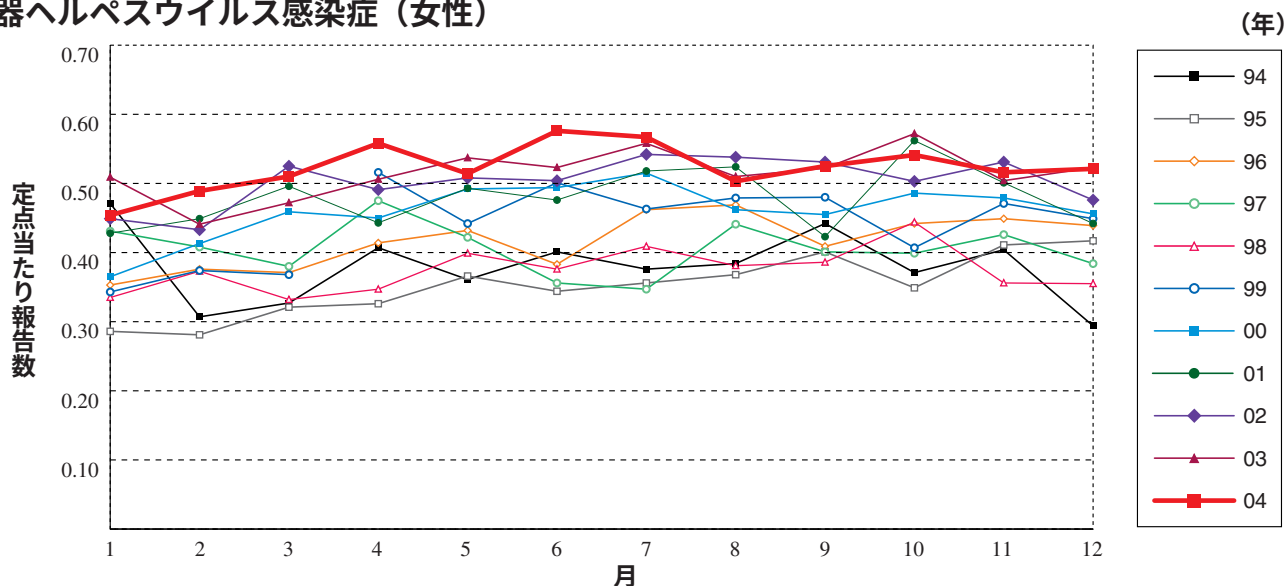
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



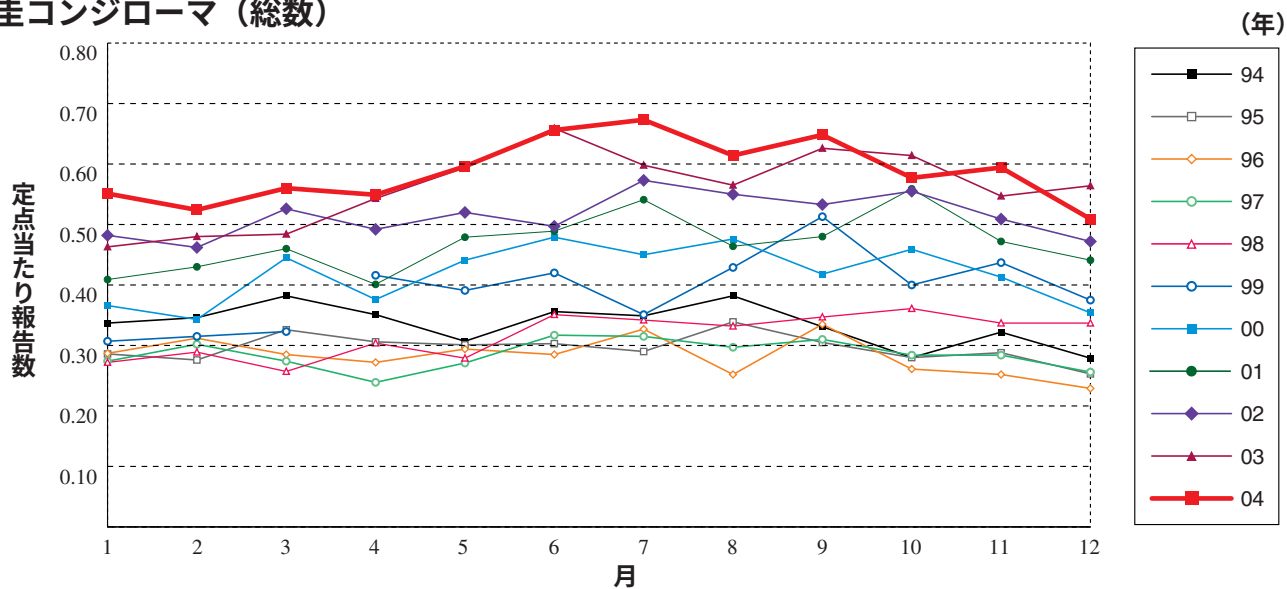
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



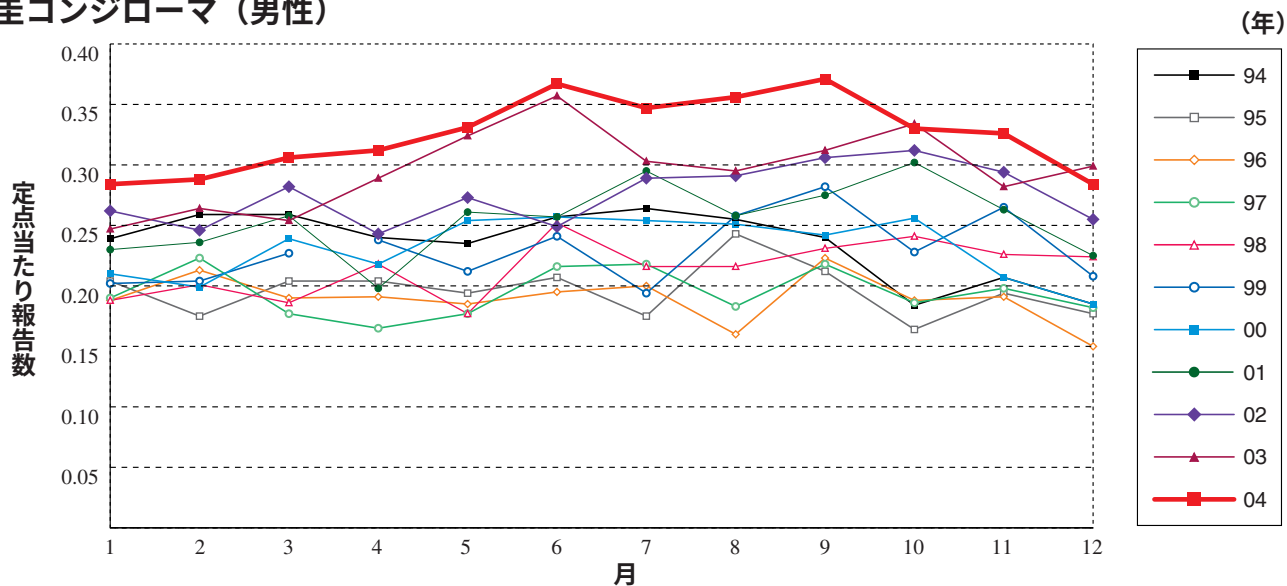
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



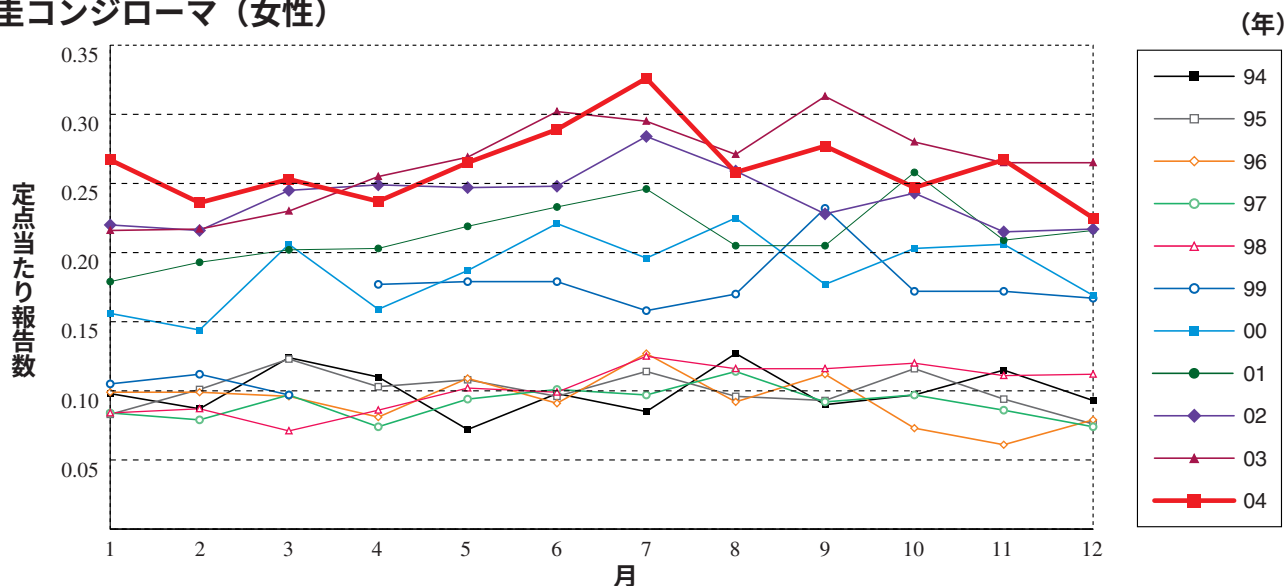
尖圭コンジローマ (総数)



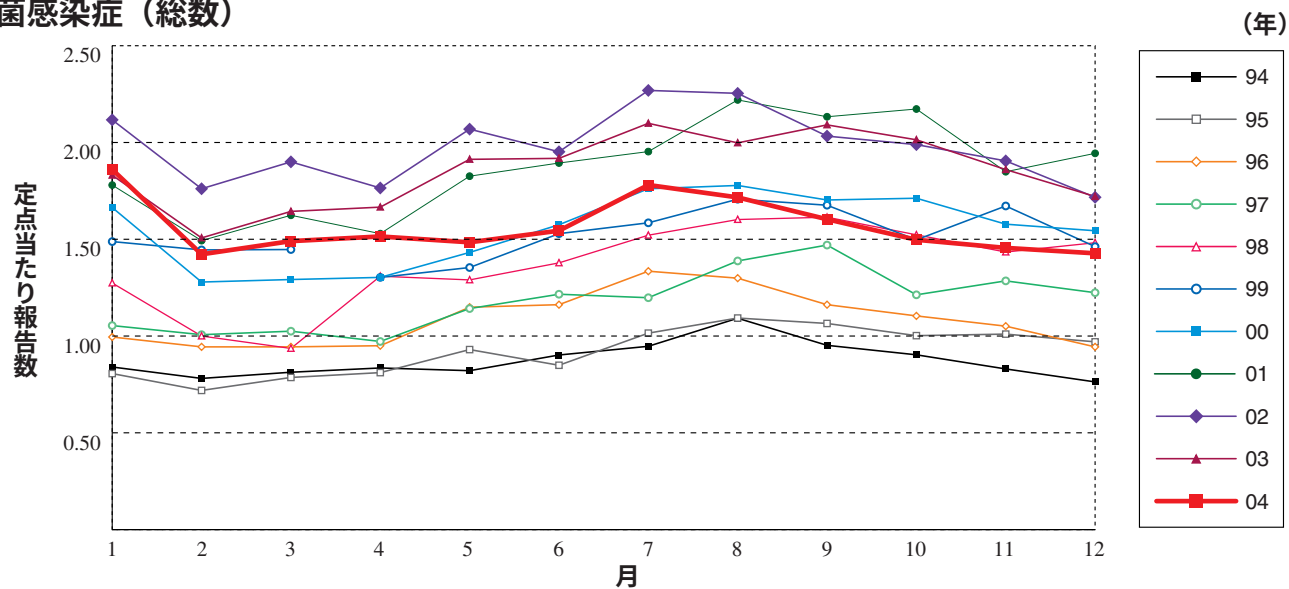
尖圭コンジローマ (男性)



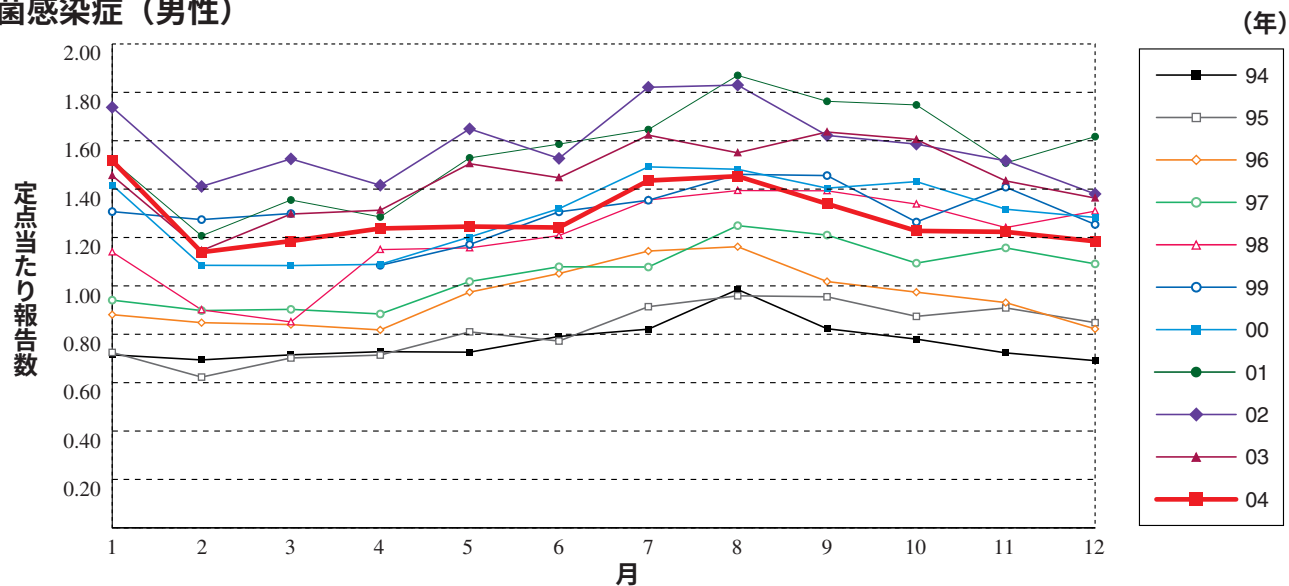
尖圭コンジローマ (女性)



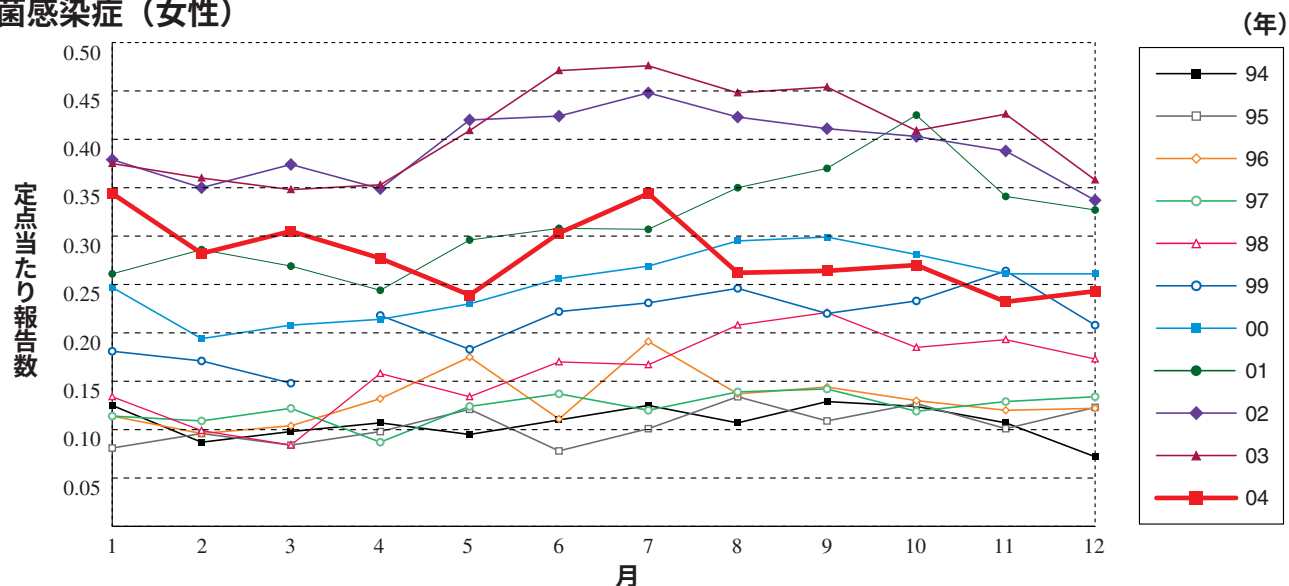
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

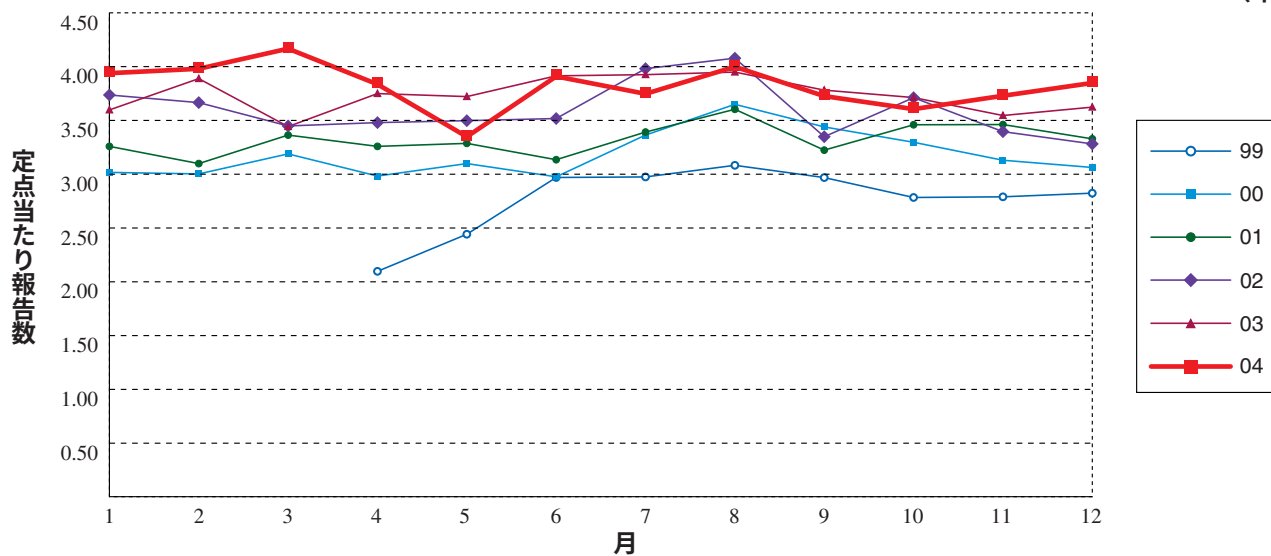


淋菌感染症（女性）



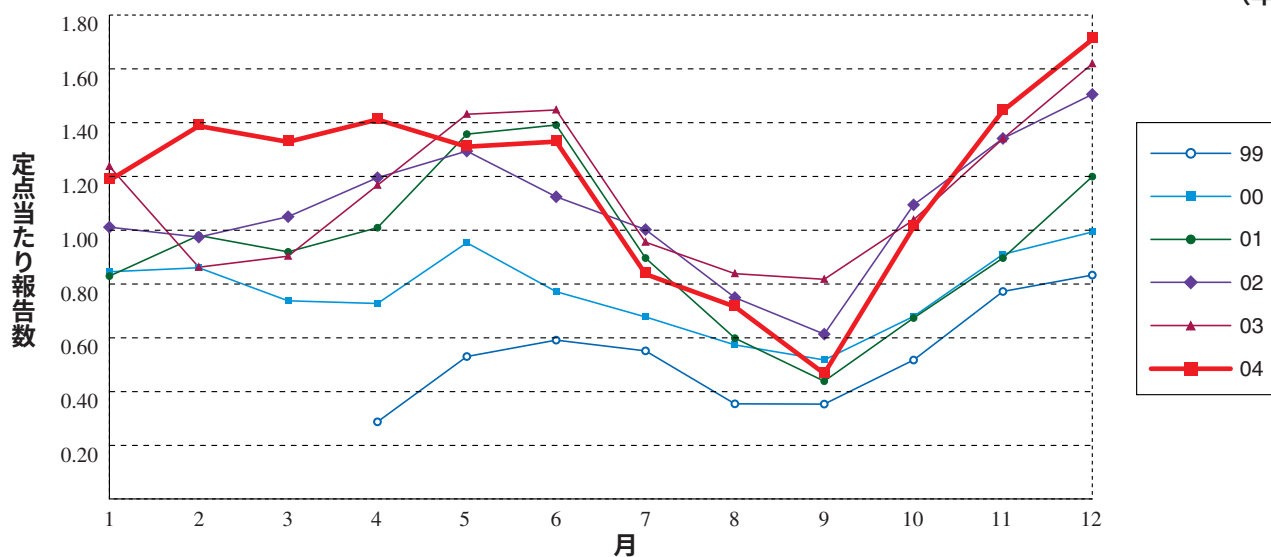
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



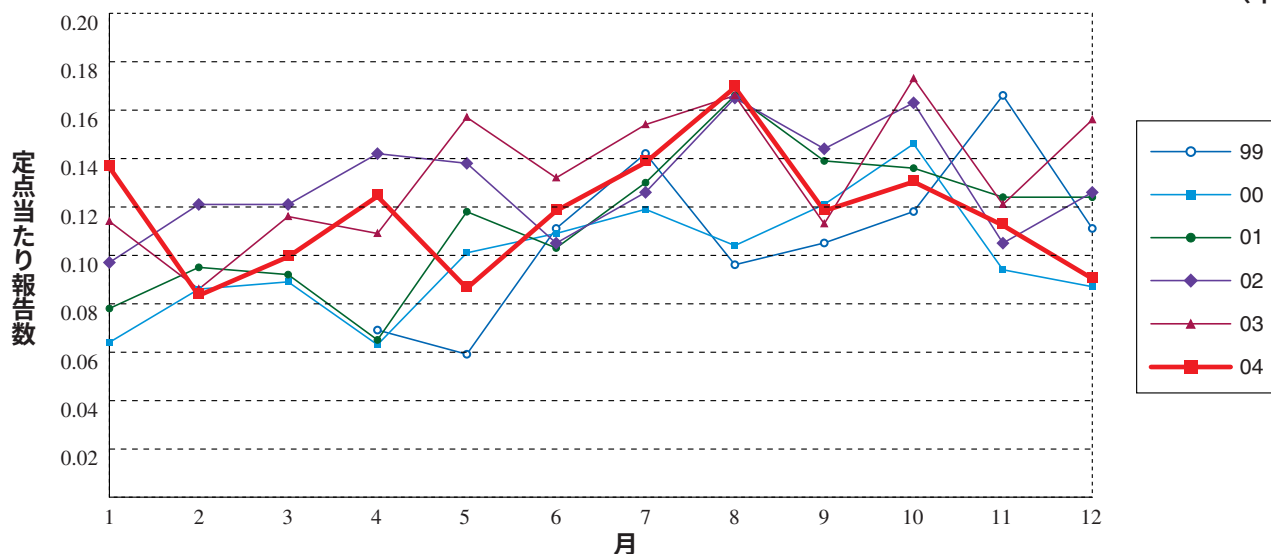
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





12月のデータ

注) 1月13日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (総数)

平成16年12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2889	3.14	805	0.88	468	0.51	1311	1.43	1819	3.86	808	1.72	43	0.09
北海道	195	4.76	44	1.07	25	0.61	73	1.78	44	1.83	-	-	2	0.08
青森県	32	2.46	11	0.85	8	0.62	15	1.15	9	1.50	-	-	-	-
岩手県	41	3.15	3	0.23	5	0.38	14	1.08	71	3.55	6	0.30	6	0.30
宮城県	79	4.39	19	1.06	8	0.44	36	2.00	37	3.08	24	2.00	3	0.25
秋田県	43	3.07	6	0.43	4	0.29	20	1.43	33	4.71	8	1.14	-	-
山形県	27	2.70	5	0.50	4	0.40	11	1.10	37	3.70	15	1.50	-	-
福島県	45	2.81	11	0.69	12	0.75	34	2.13	13	1.86	8	1.14	-	-
茨城県	90	4.29	8	0.38	7	0.33	17	0.81	9	0.90	-	-	1	0.10
栃木県	45	2.81	18	1.13	19	1.19	21	1.31	68	9.71	3	0.43	-	-
群馬県	131	5.24	16	0.64	16	0.64	45	1.80	40	4.00	15	1.50	4	0.40
埼玉県	200	4.17	34	0.71	24	0.50	50	1.04	25	2.78	11	1.22	1	0.11
千葉県	110	2.89	26	0.68	24	0.63	40	1.05	53	5.89	193	21.44	2	0.22
東京都	210	5.12	99	2.41	45	1.10	99	2.41	141	5.64	68	2.72	-	-
神奈川県	114	1.90	31	0.52	14	0.23	37	0.62	23	2.09	42	3.82	-	-
新潟県	20	1.00	15	0.75	3	0.15	31	1.55	48	3.69	15	1.15	-	-
富山県	11	1.57	4	0.57	4	0.57	8	1.14	37	7.40	53	10.60	-	-
石川県	19	1.90	8	0.80	-	-	14	1.40	12	2.40	2	0.40	-	-
福井県	5	1.00	4	0.80	-	-	4	0.80	21	3.50	30	5.00	-	-
山梨県	5	0.83	2	0.33	-	-	2	0.33	32	3.20	14	1.40	1	0.10
長野県	48	3.00	10	0.63	11	0.69	13	0.81	21	1.91	6	0.55	-	-
岐阜県	27	1.80	7	0.47	7	0.47	17	1.13	16	3.20	-	-	-	-
静岡県	93	3.10	24	0.80	8	0.27	20	0.67	57	5.70	24	2.40	-	-
愛知県	157	3.08	32	0.63	35	0.69	108	2.12	93	7.15	-	-	-	-
三重県	24	1.60	5	0.33	4	0.27	8	0.53	40	4.44	-	-	1	0.11
滋賀県	13	1.44	-	-	2	0.22	6	0.67	34	4.86	-	-	-	-
京都府	40	1.90	12	0.57	3	0.14	7	0.33	16	2.29	-	-	-	-
大阪府	289	4.82	148	2.47	44	0.73	148	2.47	46	3.29	3	0.21	1	0.07
兵庫県	92	1.96	21	0.45	30	0.64	44	0.94	23	1.64	2	0.14	1	0.07
奈良県	18	2.00	3	0.33	4	0.44	15	1.67	38	6.33	12	2.00	1	0.17
和歌山県	12	1.50	4	0.50	-	-	12	1.50	37	3.36	8	0.73	1	0.09
鳥取県	8	1.60	1	0.20	-	-	3	0.60	30	6.00	3	0.60	-	-
島根県	10	1.67	1	0.17	-	-	7	1.17	49	6.13	7	0.88	1	0.13
岡山県	82	4.82	15	0.88	18	1.06	34	2.00	22	4.40	2	0.40	-	-
広島県	40	1.48	12	0.44	10	0.37	12	0.44	98	4.67	85	4.05	7	0.33
山口県	30	2.50	11	0.92	3	0.25	9	0.75	69	7.67	29	3.22	2	0.22
徳島県	11	1.83	7	1.17	-	-	6	1.00	4	0.57	-	-	-	-
香川県	17	2.43	8	1.14	7	1.00	8	1.14	25	6.25	6	1.50	2	0.50
愛媛県	12	1.09	2	0.18	10	0.91	13	1.18	20	3.33	1	0.17	-	-
高知県	7	1.17	1	0.17	1	0.17	2	0.33	62	7.75	28	3.50	-	-
福岡県	199	5.10	57	1.46	21	0.54	127	3.26	46	2.88	16	1.00	-	-
佐賀県	12	1.71	2	0.29	1	0.14	12	1.71	16	2.67	14	2.33	-	-
長崎県	21	2.10	15	1.50	3	0.30	12	1.20	7	0.58	1	0.08	1	0.08
熊本県	51	3.64	5	0.36	7	0.50	20	1.43	63	4.20	7	0.47	-	-
大分県	17	1.70	11	1.10	3	0.30	11	1.10	59	5.90	36	3.60	4	0.40
宮崎県	46	4.18	9	0.82	2	0.18	24	2.18	28	4.00	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	48	3.00	16	1.00	10	0.63	33	2.06	18	1.50	4	0.33	-	-
沖縄県	43	3.58	2	0.17	2	0.17	9	0.75	29	4.14	6	0.86	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成16年12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1238	1.35	326	0.35	261	0.28	1088	1.18	1176	2.50	460	0.98	26	0.06
北海道	59	1.44	6	0.15	14	0.34	47	1.15	31	1.29	-	-	1	0.04
青森県	9	0.69	6	0.46	5	0.38	13	1.00	8	1.33	-	-	-	-
岩手県	18	1.38	2	0.15	4	0.31	11	0.85	47	2.35	2	0.10	4	0.20
宮城県	39	2.17	8	0.44	7	0.39	31	1.72	24	2.00	11	0.92	2	0.17
秋田県	24	1.71	2	0.14	2	0.14	18	1.29	24	3.43	4	0.57	-	-
山形県	12	1.20	3	0.30	1	0.10	3	0.30	26	2.60	8	0.80	-	-
福島県	8	0.50	2	0.13	4	0.25	28	1.75	8	1.14	4	0.57	-	-
茨城県	36	1.71	1	0.05	-	-	11	0.52	7	0.70	-	-	1	0.10
栃木県	24	1.50	15	0.94	19	1.19	19	1.19	43	6.14	2	0.29	-	-
群馬県	73	2.92	6	0.24	9	0.36	42	1.68	27	2.70	6	0.60	1	0.10
埼玉県	63	1.31	10	0.21	9	0.19	46	0.96	18	2.00	8	0.89	1	0.11
千葉県	57	1.50	11	0.29	19	0.50	34	0.89	29	3.22	105	11.67	1	0.11
東京都	99	2.41	43	1.05	30	0.73	82	2.00	97	3.88	44	1.76	-	-
神奈川県	59	0.98	10	0.17	3	0.05	36	0.60	16	1.45	21	1.91	-	-
新潟県	11	0.55	11	0.55	3	0.15	29	1.45	32	2.46	10	0.77	-	-
富山県	7	1.00	3	0.43	2	0.29	8	1.14	18	3.60	27	5.40	-	-
石川県	13	1.30	4	0.40	-	-	13	1.30	7	1.40	1	0.20	-	-
福井県	2	0.40	4	0.80	-	-	3	0.60	12	2.00	18	3.00	-	-
山梨県	1	0.17	-	-	-	-	2	0.33	18	1.80	6	0.60	1	0.10
長野県	14	0.88	3	0.19	-	-	12	0.75	18	1.64	4	0.36	-	-
岐阜県	14	0.93	6	0.40	3	0.20	17	1.13	9	1.80	-	-	-	-
静岡県	23	0.77	9	0.30	6	0.20	12	0.40	34	3.40	14	1.40	-	-
愛知県	102	2.00	21	0.41	27	0.53	99	1.94	65	5.00	-	-	-	-
三重県	10	0.67	3	0.20	3	0.20	8	0.53	26	2.89	-	-	-	-
滋賀県	4	0.44	-	-	2	0.22	5	0.56	14	2.00	-	-	-	-
京都府	8	0.38	3	0.14	-	-	5	0.24	11	1.57	-	-	-	-
大阪府	85	1.42	57	0.95	26	0.43	114	1.90	26	1.86	-	-	-	-
兵庫県	43	0.91	6	0.13	20	0.43	37	0.79	20	1.43	2	0.14	1	0.07
奈良県	9	1.00	3	0.33	2	0.22	14	1.56	24	4.00	6	1.00	1	0.17
和歌山県	6	0.75	1	0.13	-	-	11	1.38	17	1.55	7	0.64	1	0.09
鳥取県	1	0.20	1	0.20	-	-	3	0.60	19	3.80	1	0.20	-	-
島根県	8	1.33	1	0.17	-	-	6	1.00	31	3.88	3	0.38	1	0.13
岡山県	23	1.35	-	-	6	0.35	25	1.47	19	3.80	1	0.20	-	-
広島県	19	0.70	7	0.26	2	0.07	9	0.33	63	3.00	51	2.43	4	0.19
山口県	10	0.83	3	0.25	2	0.17	6	0.50	40	4.44	15	1.67	2	0.22
徳島県	9	1.50	6	1.00	-	-	6	1.00	4	0.57	-	-	-	-
香川県	8	1.14	5	0.71	6	0.86	7	1.00	20	5.00	4	1.00	-	-
愛媛県	5	0.45	1	0.09	6	0.55	12	1.09	14	2.33	1	0.17	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	1	0.17	41	5.13	17	2.13	-	-
福岡県	107	2.74	26	0.67	10	0.26	115	2.95	28	1.75	11	0.69	-	-
佐賀県	11	1.57	-	-	1	0.14	11	1.57	11	1.83	9	1.50	-	-
長崎県	8	0.80	2	0.20	1	0.10	8	0.80	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	17	1.21	-	-	3	0.21	16	1.14	34	2.27	5	0.33	-	-
大分県	11	1.10	6	0.60	1	0.10	9	0.90	42	4.20	26	2.60	3	0.30
宮崎県	24	2.18	2	0.18	1	0.09	18	1.64	20	2.86	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	30	1.88	7	0.44	1	0.06	23	1.44	12	1.00	2	0.17	-	-
沖縄県	13	1.08	-	-	1	0.08	3	0.25	18	2.57	3	0.43	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成16年12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1651	1.80	479	0.52	207	0.23	223	0.24	643	1.37	348	0.74	17	0.04
北海道	136	3.32	38	0.93	11	0.27	26	0.63	13	0.54	-	-	1	0.04
青森県	23	1.77	5	0.38	3	0.23	2	0.15	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	1	0.08	1	0.08	3	0.23	24	1.20	4	0.20	2	0.10
宮城県	40	2.22	11	0.61	1	0.06	5	0.28	13	1.08	13	1.08	1	0.08
秋田県	19	1.36	4	0.29	2	0.14	2	0.14	9	1.29	4	0.57	-	-
山形県	15	1.50	2	0.20	3	0.30	8	0.80	11	1.10	7	0.70	-	-
福島県	37	2.31	9	0.56	8	0.50	6	0.38	5	0.71	4	0.57	-	-
茨城県	54	2.57	7	0.33	7	0.33	6	0.29	2	0.20	-	-	-	-
栃木県	21	1.31	3	0.19	-	-	2	0.13	25	3.57	1	0.14	-	-
群馬県	58	2.32	10	0.40	7	0.28	3	0.12	13	1.30	9	0.90	3	0.30
埼玉県	137	2.85	24	0.50	15	0.31	4	0.08	7	0.78	3	0.33	-	-
千葉県	53	1.39	15	0.39	5	0.13	6	0.16	24	2.67	88	9.78	1	0.11
東京都	111	2.71	56	1.37	15	0.37	17	0.41	44	1.76	24	0.96	-	-
神奈川県	55	0.92	21	0.35	11	0.18	1	0.02	7	0.64	21	1.91	-	-
新潟県	9	0.45	4	0.20	-	-	2	0.10	16	1.23	5	0.38	-	-
富山県	4	0.57	1	0.14	2	0.29	-	-	19	3.80	26	5.20	-	-
石川県	6	0.60	4	0.40	-	-	1	0.10	5	1.00	1	0.20	-	-
福井県	3	0.60	-	-	-	-	1	0.20	9	1.50	12	2.00	-	-
山梨県	4	0.67	2	0.33	-	-	-	-	14	1.40	8	0.80	-	-
長野県	34	2.13	7	0.44	11	0.69	1	0.06	3	0.27	2	0.18	-	-
岐阜県	13	0.87	1	0.07	4	0.27	-	-	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	70	2.33	15	0.50	2	0.07	8	0.27	23	2.30	10	1.00	-	-
愛知県	55	1.08	11	0.22	8	0.16	9	0.18	28	2.15	-	-	-	-
三重県	14	0.93	2	0.13	1	0.07	-	-	14	1.56	-	-	1	0.11
滋賀県	9	1.00	-	-	-	-	1	0.11	20	2.86	-	-	-	-
京都府	32	1.52	9	0.43	3	0.14	2	0.10	5	0.71	-	-	-	-
大阪府	204	3.40	91	1.52	18	0.30	34	0.57	20	1.43	3	0.21	1	0.07
兵庫県	49	1.04	15	0.32	10	0.21	7	0.15	3	0.21	-	-	-	-
奈良県	9	1.00	-	-	2	0.22	1	0.11	14	2.33	6	1.00	-	-
和歌山県	6	0.75	3	0.38	-	-	1	0.13	20	1.82	1	0.09	-	-
鳥取県	7	1.40	-	-	-	-	-	-	11	2.20	2	0.40	-	-
島根県	2	0.33	-	-	-	-	1	0.17	18	2.25	4	0.50	-	-
岡山県	59	3.47	15	0.88	12	0.71	9	0.53	3	0.60	1	0.20	-	-
広島県	21	0.78	5	0.19	8	0.30	3	0.11	35	1.67	34	1.62	3	0.14
山口県	20	1.67	8	0.67	1	0.08	3	0.25	29	3.22	14	1.56	-	-
徳島県	2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	9	1.29	3	0.43	1	0.14	1	0.14	5	1.25	2	0.50	2	0.50
愛媛県	7	0.64	1	0.09	4	0.36	1	0.09	6	1.00	-	-	-	-
高知県	5	0.83	1	0.17	1	0.17	1	0.17	21	2.63	11	1.38	-	-
福岡県	92	2.36	31	0.79	11	0.28	12	0.31	18	1.13	5	0.31	-	-
佐賀県	1	0.14	2	0.29	-	-	1	0.14	5	0.83	5	0.83	-	-
長崎県	13	1.30	13	1.30	2	0.20	4	0.40	3	0.25	1	0.08	1	0.08
熊本県	34	2.43	5	0.36	4	0.29	4	0.29	29	1.93	2	0.13	-	-
大分県	6	0.60	5	0.50	2	0.20	2	0.20	17	1.70	10	1.00	1	0.10
宮崎県	22	2.00	7	0.64	1	0.09	6	0.55	8	1.14	-	-	-	-
鹿児島県	18	1.13	9	0.56	9	0.56	10	0.63	6	0.50	2	0.17	-	-
沖縄県	30	2.50	2	0.17	1	0.08	6	0.50	11	1.57	3	0.43	-	-

注) 1月24日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成16年12月

	結 核	
	報告数	
総 数	2290	
北海道	69	
青森県	26	
岩手県	10	
宮城県	32	
秋田県	14	
山形県	10	
福島県	27	
茨城県	44	
栃木県	14	
群馬県	23	
埼玉県	102	
千葉県	96	
東京都	258	
神奈川県	154	
新潟県	40	
富山県	12	
石川県	31	
福井県	9	
山梨県	8	
長野県	17	
岐阜県	29	
静岡県	64	
愛知県	130	
三重県	41	
滋賀県	20	
京都府	52	
大阪府	260	
兵庫県	143	
奈良県	33	
和歌山県	23	
鳥取県	14	
島根県	9	
岡山県	31	
広島県	31	
山口県	23	
徳島県	18	
香川県	22	
愛媛県	29	
高知県	14	
福岡県	106	
佐賀県	21	
長崎県	51	
熊本県	22	
大分県	19	
宮崎県	19	
鹿児島県	32	
沖縄県	38	



2週のデータ

注) 表中の報告数は1月20日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年2週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		バスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	15	22		2	3	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性 大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		回帰熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	8	12	8	14	-	-	-	-	1	2	-	-	2	5
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	3	1	3	6	11	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	3	6	1	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ボツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」→「ボツリヌス症」、定点疾患「急性脳炎」→全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」、「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注) 表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	3267	0.70	656	0.22	3071	1.01	35175	11.54	6750	2.21	522	0.17	763	0.25	2175	0.71	19	0.01
北海道	42	0.22	81	0.57	154	1.08	422	2.95	382	2.67	5	0.03	42	0.29	91	0.64	2	0.01
青森県	4	0.06	-	-	49	1.17	246	5.86	67	1.60	16	0.38	5	0.12	22	0.52	-	-
岩手県	27	0.44	12	0.33	11	0.31	374	10.39	104	2.89	2	0.06	10	0.28	16	0.44	-	-
宮城県	79	0.80	10	0.16	57	0.93	1225	20.08	183	3.00	5	0.08	49	0.80	61	1.00	-	-
秋田県	17	0.31	20	0.57	31	0.89	391	11.17	92	2.63	2	0.06	6	0.17	17	0.49	-	-
山形県	17	0.35	4	0.13	59	1.97	283	9.43	136	4.53	5	0.17	19	0.63	32	1.07	-	-
福島県	102	1.28	6	0.13	31	0.65	622	12.96	125	2.60	5	0.10	41	0.85	39	0.81	-	-
茨城県	51	0.44	9	0.12	64	0.86	516	6.97	121	1.64	6	0.08	6	0.08	37	0.50	-	-
栃木県	54	0.77	3	0.07	31	0.67	381	8.28	75	1.63	3	0.07	5	0.11	21	0.46	-	-
群馬県	159	1.59	6	0.10	80	1.29	543	8.76	112	1.81	23	0.37	5	0.08	48	0.77	-	-
埼玉県	337	1.31	29	0.18	162	1.01	1893	11.76	405	2.52	19	0.12	33	0.20	137	0.85	3	0.02
千葉県	294	1.39	14	0.10	142	1.06	1630	12.16	294	2.19	27	0.20	28	0.21	109	0.81	3	0.02
東京都	184	1.03	17	0.12	77	0.54	1455	10.25	203	1.43	18	0.13	34	0.24	76	0.54	-	-
神奈川県	229	0.68	32	0.16	158	0.77	2244	10.89	394	1.91	24	0.12	69	0.33	139	0.67	-	-
新潟県	72	0.73	46	0.77	115	1.92	497	8.28	159	2.65	6	0.10	9	0.15	52	0.87	-	-
富山県	7	0.18	4	0.14	51	1.76	466	16.07	54	1.86	4	0.14	9	0.31	18	0.62	-	-
石川県	56	1.17	15	0.52	39	1.34	557	19.21	62	2.14	22	0.76	6	0.21	16	0.55	-	-
福井県	34	1.06	24	1.09	32	1.45	561	25.50	92	4.18	-	-	7	0.32	10	0.45	-	-
山梨県	16	0.39	1	0.04	16	0.64	183	7.32	23	0.92	1	0.04	10	0.40	12	0.48	1	0.04
長野県	71	0.81	7	0.13	107	1.95	630	11.45	163	2.96	3	0.05	2	0.04	40	0.73	1	0.02
岐阜県	135	1.61	7	0.13	25	0.47	257	4.85	88	1.66	5	0.09	1	0.02	17	0.32	-	-
静岡県	224	1.64	4	0.05	81	0.94	1105	12.85	173	2.01	13	0.15	9	0.10	76	0.88	-	-
愛知県	230	1.19	50	0.28	210	1.17	1948	10.82	299	1.66	23	0.13	23	0.13	118	0.66	-	-
三重県	101	1.38	16	0.36	41	0.91	829	18.42	82	1.82	11	0.24	6	0.13	34	0.76	-	-
滋賀県	13	0.25	-	-	11	0.33	206	6.24	66	2.00	7	0.21	1	0.03	15	0.45	-	-
京都府	48	0.41	8	0.11	34	0.45	667	8.89	95	1.27	16	0.21	11	0.15	34	0.45	-	-
大阪府	92	0.32	19	0.10	123	0.62	1539	7.77	312	1.58	26	0.13	39	0.20	112	0.57	1	0.01
兵庫県	53	0.27	21	0.16	89	0.70	1737	13.57	288	2.25	16	0.13	27	0.21	96	0.75	-	-
奈良県	5	0.11	8	0.23	45	1.29	271	7.74	40	1.14	4	0.11	1	0.03	11	0.31	-	-
和歌山県	2	0.04	4	0.13	20	0.65	359	11.58	123	3.97	12	0.39	4	0.13	38	1.23	-	-
鳥取県	40	1.38	1	0.05	23	1.21	201	10.58	44	2.32	9	0.47	-	-	16	0.84	-	-
島根県	21	0.57	6	0.26	12	0.52	413	17.96	52	2.26	16	0.70	-	-	18	0.78	-	-
岡山県	70	0.83	4	0.07	40	0.74	641	11.87	106	1.96	11	0.20	16	0.30	35	0.65	-	-
広島県	26	0.22	17	0.23	57	0.76	1281	17.08	175	2.33	5	0.07	10	0.13	55	0.73	1	0.01
山口県	17	0.24	25	0.51	72	1.47	1027	20.96	159	3.24	11	0.22	13	0.27	35	0.71	-	-
徳島県	3	0.08	16	0.70	19	0.83	334	14.52	40	1.74	1	0.04	18	0.78	17	0.74	-	-
香川県	19	0.37	7	0.22	26	0.81	467	14.59	60	1.88	23	0.72	8	0.25	26	0.81	-	-
愛媛県	5	0.08	3	0.08	63	1.62	609	15.62	90	2.31	5	0.13	2	0.05	38	0.97	-	-
高知県	13	0.27	3	0.10	62	2.00	525	16.94	52	1.68	7	0.23	3	0.10	13	0.42	1	0.03
福岡県	88	0.44	44	0.37	205	1.71	1212	10.10	386	3.22	22	0.18	93	0.78	136	1.13	5	0.04
佐賀県	11	0.31	7	0.30	42	1.83	368	16.00	72	3.13	10	0.43	24	1.04	32	1.39	-	-
長崎県	54	0.79	13	0.30	56	1.27	587	13.34	79	1.80	6	0.14	1	0.02	28	0.64	-	-
熊本県	10	0.12	12	0.24	36	0.73	666	13.59	77	1.57	15	0.31	9	0.18	52	1.06	-	-
大分県	11	0.19	1	0.03	68	1.89	738	20.50	96	2.67	4	0.11	11	0.31	30	0.83	-	-
宮崎県	24	0.40	12	0.32	78	2.11	1078	29.14	185	5.00	35	0.95	5	0.14	44	1.19	-	-
鹿児島県	76	0.82	8	0.14	56	1.00	738	13.18	168	3.00	9	0.16	33	0.59	40	0.71	1	0.02
沖縄県	24	0.41	-	-	11	0.32	253	7.44	97	2.85	4	0.12	-	-	16	0.47	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年2週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	10	0.00	78	0.03	9	0.00	3625	1.19	15	0.02	442	0.68	5	0.01	8	0.02	84	0.18
北海道	2	0.01	1	0.01	-	-	91	0.64	-	-	22	0.76	1	0.04	-	-	2	0.09
青森県	-	-	-	-	-	-	20	0.48	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	7	0.19	-	-	23	0.64	-	-	10	0.83	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	-	-	3	0.05	-	-	23	0.38	1	0.08	-	-	-	-	-	-	2	0.17
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	2	0.06	-	-	3	0.43	-	-	-	-	7	1.00
山形県	-	-	-	-	-	-	32	1.07	-	-	-	-	-	-	1	0.10	5	0.50
福島県	-	-	2	0.04	-	-	45	0.94	-	-	12	1.00	-	-	-	-	6	0.86
茨城県	-	-	-	-	-	-	48	0.65	-	-	26	1.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	-	-	11	0.24	1	0.08	11	0.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	0.03	-	-	64	1.03	-	-	27	1.93	2	0.20	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	2	0.01	-	-	214	1.33	-	-	15	0.41	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	1	0.01	1	0.01	-	-	255	1.90	-	-	24	0.69	-	-	-	-	5	0.56
東京都	-	-	2	0.01	1	0.01	123	0.87	-	-	10	0.71	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	3	0.01	1	0.00	228	1.11	2	0.05	34	0.81	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	1	0.02	-	-	67	1.12	-	-	8	0.89	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	1	0.03	-	-	46	1.59	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	29	1.00	1	0.14	2	0.29	-	-	-	-	4	0.80
福井県	-	-	-	-	-	-	153	6.95	-	-	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	4	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.10
長野県	1	0.02	1	0.02	-	-	41	0.75	1	0.09	10	0.91	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-	131	2.47	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	104	1.21	-	-	6	0.30	-	-	-	-	3	0.30
愛知県	-	-	3	0.02	-	-	251	1.39	-	-	19	0.54	-	-	-	-	4	0.31
三重県	-	-	1	0.02	-	-	37	0.82	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	41	1.24	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.29
京都府	-	-	1	0.01	-	-	82	1.09	-	-	6	0.26	-	-	-	-	2	0.13
大阪府	1	0.01	6	0.03	2	0.01	210	1.06	3	0.06	16	0.31	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	2	0.02	-	-	85	0.66	-	-	23	0.66	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	37	1.06	-	-	4	0.44	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2	0.06	52	1.68	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	3	0.16	-	-	3	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.80
島根県	1	0.04	1	0.04	-	-	3	0.13	-	-	2	0.67	-	-	2	0.25	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	0.02	44	0.81	-	-	16	1.33	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	1	0.01	-	-	102	1.36	1	0.05	13	0.65	1	0.05	-	-	7	0.37
山口県	-	-	5	0.10	-	-	88	1.80	-	-	11	1.22	-	-	-	-	7	0.78
徳島県	-	-	-	-	-	-	4	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	2	0.06	43	1.34	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	56	1.44	-	-	7	1.00	-	-	1	0.17	1	0.17
高知県	-	-	2	0.06	-	-	20	0.65	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	7	0.06	-	-	367	3.06	-	-	24	0.92	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	71	3.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	26	0.59	3	0.38	8	1.00	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	3	0.06	-	-	102	2.08	-	-	23	2.56	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	-	-	-	-	42	1.17	1	0.20	5	1.00	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	6	0.16	-	-	60	1.62	1	0.25	5	1.25	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	1	0.02	2	0.04	-	-	29	0.52	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	16	0.47	-	-	8	0.80	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別

平成17年2週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	8	0.02	-	-	341
北海道	-	-	-	-	20
青森県	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	12
山形県	-	-	-	-	-
福島県	3	0.43	-	-	21
茨城県	-	-	-	-	6
栃木県	1	0.14	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	3
千葉県	3	0.33	-	-	5
東京都	-	-	-	-	11
神奈川県	-	-	-	-	7
新潟県	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	11
山梨県	-	-	-	-	…
長野県	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	14
愛知県	-	-	-	-	27
三重県	-	-	-	-	6
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	30
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	8
鳥取県	-	-	-	-	8
島根県	-	-	-	-	2
岡山県	1	0.2	-	-	10
広島県	-	-	-	-	22
山口県	-	-	-	-	37
徳島県	-	-	-	-	11
香川県	-	-	-	-	…
愛媛県	-	-	-	-	7
高知県	-	-	-	-	…
福岡県	-	-	-	-	…
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	10
熊本県	-	-	-	-	15
大分県	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	13
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	…

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日：平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年2週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第7巻、第2号 平成17年1月28日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

＜国立感染症研究所 感染症情報センター＞

<http://www.mhlw.go.jp/>

＜厚生労働省＞

<http://www.forth.go.jp/>

＜旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。